重要國策問題

その他に就

鮮満・活頭の懸弦は可立時

產業 調查委員會は十月中

館、職盟總額決議に基く財団舗は 英パスコンセロス氏司会の下に

する徹前な振興あり調緻を総額はよつて能長より各差級の努力を謝

同八時の二回に亘つて本町 一 の 1 日子後二

年前九時整仁川に行く豫定である。明政院で批议的産の質を雇し十日

陽器となった、かくて昨年十一月

した重響が確さそれ(一角照出身)地行中の各省よりの概案の一通り側が映際調査的において報節決定」になった、而して原用首組は月下

逆能に聴民南端の難思を貧重するを生することなからしめ、以て間

かれて政府の異点たる立場より、直接提出その無行を説明すること 2000第方面においても改成和気は 田郷相より街面で断田首相の下に

て本格的舞踊に入りつつあり、一 せず 近く適常の郷顔に頼母木 島は各省蟷螂の奥案につれ四を歩ふ 如く解源脳上にて脳炎することをは各省蟷螂の奥案につれ四を歩ふ 如く解源脳上にて脳炎することを

をして右の威民刑が策を参考に供を決定する時に當り、内閣三長国

西班下のと共に、来る十一月一日 して行はれ、本省辿の機構協立に

官を採用する事となってゐる、右十一月一日より一般十五名の西弥

そのまと移譲されたものであつて

一部別図方外法が記録に闘する論説 ド・トルビュン紙は五日の紙上に

【ニューヨーの大日同世】ヘラル

米紙の所論 治法權撤廢と

福洲西は日本人を除く語での外しを助げ次の如く論じてゐる

あるところによれば松島

血商局長

事とし、陣容の整備を終つた認動 つてゐる通商局第一派長に關意部

對伊制裁撤去期日は

五日ミ决定

専門委員會に文案起草を委囑

六日の聯明皿調整委員會

の機の連絡を調整し通路

心脈血無制能成の接接を受けた後

を確定し、独三十分間

作出政が必能は七世正年局長所

ろしくない、其意味に配ける國 策とも云ふべき項目を懸げる

案は書面で

る供ある所から、七日の閑談にお 選起するを発れない結果を招來す

航路統制法委員會目制々定の

的機時

を擴充

總務課の創設と共に

いては敗めて継載方法を協議した

日たる大曜、金曜の二回の釈迦でととなつてをり、これを定側部誕

てれぞれ國策案の提出を見るこ

自の歌画までには残る各省よ一即中國遊響版を聞くとに決定した

司法國策の協議に入ったが来

ととし、更に十三日よりは経日午 結果、東る十月の深談よりは邪談

に提出

有田外相は經濟外交」眼に於て極めて不満足ではあるが一般能を鰹仰せんとする

商務官を十五名增員

健的モデルとしてその構成、人選

一個に於て最大の効果を翻弾せんと

政府、黨意尊重に努力

法省所管國策につき 相から提案説

次回閣議の聽取方針を決定 林法相より司法省所管の重要国策

(東京市語) 第二回重要側部開始 以上日午明十時二十分より首由官 以上明會、廣田首相以下各階別及 以上明會、廣田首相以下各階別及

三日から毎日

閣議を開催

定期叙勳

った、生なるもの左の如し 武官に七日定期設励の御沙汰があ 朝長以下于 | 百六十名の |東京電話|| 航路鏡間法間線の三一あつて電話に入るが、出席者は

他以

人島農林局長が報

七日の本府局長會議

時十分入城浦尾成節、十四日夜四郎氏等十二名、十二日午後三四郎氏等十二名、十二日午後三

を可とする表十二名、原案一部を可とする表十二名、原案一部を正十九名、原案一部を正十九名、原案一部を正十九名、原案一部を正立とに決りません。

東京に於ける解脳その他に就いて と報告、次いで相川外卓部長から

意見を質したが確まらず、今週中

印いニュージーランド、パナマ、

のほめ語酬する事となってゐるが

フラジル、アルゼンチン等の諸国

人から、健医をおらけ返ばされる

と決めた。で

が、上人の顔をのぞいた。

東京州圏中央銀行組扱 七日

電やむ 天地支黄 「おうはさをするうちに、あれへ

くも大命なくして歌じて動かす 「やはり、 上人がお見えなされました。

果イタリー政府は極上海域経験政果イタリー政府は極上海域経験の結

傷ひをなされた

『あれが、元の辨園か』

小屋から、土瓶

御

入つてるたい

伊不参加

「ローマ六日同盟」 副級協国の

総設芸部法はいよく/人月一日1 の河野郎班に入る智 総設芸部法はいよく/人月一日1 の河野郎班に入る智

今や全國的に白紹化してゐる矢先

東京本郷のエスペラント受賞では スペラント駅艦六百除ヶ面に「ゼ

世界各會に飛燬して猛運動

ピック東京招致に

エスペラント學會が

宇垣語管は職養のため七日午後四 り施行される窓である 總督仁川へ「三川語」



古庄京城、芳賀平輝、阿部威勇

動に合成して展判なる活動をする 名よ」との概を飛ばして、この運業を支持するやう最後の御職力を ひ貨画のオリンピック委員が果忌

府財務局長が統裁官となり、宇垣

絶質所の視筋監督局長軽敵は株本

肌路統制法

能校園是、玉非大阪和務監督局總 ら大阪省の谷口鵬税職長、太田函 の五紀務監督局長を初め、内地か

「個人物、おまへも、さうちへて

の信念そのものと要で聞いてゐる 「あの真心の下に手斧の背」

イカリソース

「らむ……何となら、来てみたく

花治

遊馬

畵 作

一雄飛海接隊の唄」 即ち之れ 東海林太郎が新坟地を

1 9 Y

(175)

唄

東海林太郎

ボリド ロド

☆本ル

紫蛇コ 高大し

اً ٰ

九日から二日間開催

會議

河和田の平次 (三)

しても、武力や財力では、この説。向けられて来る。 こを立ち聞いてゐると、戡戯は、屋崎を初め、家来の人々が、そ 、此がへお足を在らせられる…

面B

瀬路戀しや

ŧ

砂栗

國の土と人間とをその姿のうちに 液然と一つのものにして無難作に **村栗の古法衣に、そこらで付けた**

「おゝ、おそろひだの」

今期間中

賣特仕奉大 附品景家用愛御 ガ實 ラ用 ス向 二合瓶一本御買上毎に 速刻御下命の程をノ 枚宛洩れなく進品 小 皿



+





の修設者の司として怖しい数力を一の修設者の司として怖しい数力を 持つてゐた脂肪公療圏ではござい 場から、自湯を一院もらうて来て 信題は、湯のみ小屋へ向つて、 『――喉がかわいた。あの湯のみ 権之助がつぶやくと、城主の國 『お得ちください。すぐ持つて熱 があれへ行つたお弟 かあれへ行つたお弟 ので見て歴之助が、 ちゃよ 犯子のひとり Scillis and the second 呈贈譜總 80五世月七



中等学校以上の學生生徒並に各學校教職員、

その他一般で特に希

って、特異の地位を占めて了ひました

として世に出てから其の抱く職友な由家はキヤムバーを完全に魅力し去れた。として世に出てから其の抱く職友な由家はキヤムバーを完全に魅力と数の関係 山に入り山に生きた先住民族大田の腹蛤的生山に豊かな山の幸を興へて

申込締切

七月十八日

製金組織部へ申込みのと

本府學務局、鐵道局、新鐵

金爵

主催 京城日報社

此處に突本緯では臨道局、學術局の後缀を得て高風峻覚とキャムブの簡単終すことになりました。

(別に婦人班や設けます)

自七月廿四日

至計日

| 京城|| 合員 | 四国五〇銭 (神に姫等、湖南、西鮮神方の食利は点はまでの) 設備は主催者の方で相応の課題をかけて最しますが質員からは一部を質摺していたときます。 五事、願生、新、語材料の評選及運搬、その他八十人が生活する実行の 各種の月 (往復の別引汽車員、船資車ニキャムブ費の一郎 ……天路の用窓 キャンプ地

歸着七月三十一日午前六時五十五分

京城驛七月廿三日午後十一時地方會員はこ新中に台南せられたし

當社の設備] テンプ、モーターボート

日 | 明二ラクサック、19次 | 明二カラサック、19次 | 明二カラサック、19次 | 19次 | 19x |

近く送局さる

ヤンビングへ行くには

は点城日徹此、鐵道局營業課底客係、元山鐵道事務所營業係、威與驛に細照實下さい

く、通常私達の生活の延校と心得ていく譯で、むしろ種キャンピングへ行くと云つても特別な準備は別に必要な

必死の活動で六日午町二時沙里院

者刑事三名が永遠、平極著の聴援 一人組の強猛犯人は沙里院繁新習 验は接地湖を辨述する像定です交高原以高競技會も催すつもりです

五○○米設)に採取を築わた登山を試みます。荷部希望により閩希望者をもつて登山班を編成して一二泊の繁定の別近の高山(二

刀と抵懈を以て脅迫、現金七十圓 に侵入、主人李某を括り起して食

【平均電話】 去る州日午前零時頃 | が、既に復等へ紹介版を計いたり

主犯、共犯三名とも

「明日」同じ

て頭で

るれ売らかく効く効らかい良

。直

九香明

產科 婦人科

科婦人科院養醫學等上松長泰治京城, 一切 婦人 / 所院 原或北米、町九四 電本。〇四八二番

神道原山郡文井南沙里城坑饭基

は引躍き取調べ中のところ、近く 施支の便宜を與へてゐた安征匈氏

ヒツトレコード集最近の

★ あの夢この夢 「薬 * 女をと人形 ★潮來追分

回級洗酬用し

コード回線

夢

集

梅霉藥 別八月 特六月 湖底縣 別八月 特四日

城大豫科教授

ものをそのまる背質のて出かけませら

後二時五十五分、京城省同三時「げた工芸館はwwwの三日版の歌歌」京城府では初級教育の向上を明ず「姉里高版都方で師里供に超らる外」し、 第四三〇列車(川原年) 景柏東で れてるため年を数ひ上 初等す教育 骨議 「見観音像で」は七月午前一時頃 の鑑

去る六月十四日淡江西水印の波船

人命戦助の賞

あす府應で

先生方の集り

平南成川都で

「里越有漢字」は七月午前一時頃」の鑑で、紹女子に誘誘の手を伸は「紫像変像では、殿童建筑中、敦媛「業能可を取消すと共に且予取盟中【軍艦運転】平南原川郡特門面呂「近東京城府内の入事総介案の暖扉」をする満かある事を繰りした制命 しい行動に出た事が判り、直に登

鍾路署保安で取締

湖 湖 午午午午 烧时 烧前

頭腦過夢

の必携薬!

00000

町一三六人事紀介衆手敞道でかが

勇敢な工兵に

から人能勢助賞として金一封

職当局では存て京に間の邪客間

後四時,仁川流同四時五十七分第四二九列車。 京城超年 州分

感よ十

一日から實施さる

後一時まで大々的に行はれること となった、繋が局より係官が出版

品語は聚る十日午前七時から午

の大塔、下東、鳴台の三時水離轍のため、同江沿岸區南並海際皆内

お出して他の腹部を刺して即死せ一般、腹り合ひとなり、形は食刀を添

鐵道自殺 十五分的新北南 町野谷田池軍部長に破壊された狂ふ人妻 大日午後九郎五 したことこの 揺ぶらし、蚊目即

したことこの経験語し、数目前本

世代並三千八百十五國を酷飲者服

|三名と仮習中、譬細なことからロ| しめた、目下欧川岩で取調べ中

附近民が聯合して

を新設することに決定した

があって京城女師校長福城間告氏 第490で京城女師校長福城間告氏 歌米飯行中に於ける國師の印象

既をからすると

一関年に相割するので大日本國際

今年は八十二周年、神宮で集り

方から配大、三戸、四棟を金城して 方から配大、三戸、四棟を金城して

飛込み自殺した、精神與常の為「陸朔した」は緊発列車で多数の出迎へを受け

舊悪露見し御用

三千八百圓の横領

活品されるとになった

脚家庭の御食膳にも

全般天氣豫報。

分讓

開始

及道路下水完備

六圓ョリ

(年賦又八即寶)

黃金町東拓內 電本五四八五番

經營株式

會

社

門停留場(龍谷高等女學校隣接地)

関朝師本部及び京城府、政化

校二十四校の首席訓覧三十六名を に断肉小型校十二枚、公立豊通學

ネコ自殺未遂

京城四中一品た三里提信でしは焼死した

城南米部町の現下場外交回長品

百四、なほこの火車で温雯に駆て 懇觑から出火したもので、「腹形大 次女完賞(よ)が同家の繁積の間で

るため、八日午後三時府職會議部 |招集教育上語版の打合協議を行ふ

参拝者には

図旗章を贈る

伊豫語が市をきかし、甜瓜は朝一

内地物ばかりで熊本一記することになり、七日各郷道事

少女の悪戯から

三月四棟を焼く

刊明、博中に際家の娘さんの制度

調本派二回軍局里洋郷東(ニュ)と

マヨネーズ

新いず 鱼1

元量度量年万ンクラグで

六日夜十時半均淡江人遺植下に

開発版があった、絵配の結果

女の息具持つて

青年漢江で死

九日

京城府黄金町三丁目

電本空二九八八番・六〇五三

旅

三館

四引立御來泊の榮を賜り度く茲に謹告旁奉悃顯侠 敬具八共新館の一部を燒失せるに止り引つゞき營業罷在候で表新館の一部を燒失せるに止り引つゞき營業罷在候頃を戴き居り候處去る十五日類燒の厄に遭ひ全燒を傳回を戴き居り候處去る十五日類燒の厄に遭ひ全燒を傳

を持つてゐた、慰愛關係の投身自

吾家の火事で弟焼死

一般臨時貨物列車が成興、本富間を

荒井龍男氏歸朝

迎行中、成與中央町一二二宮城第

火災ハルさん(w)==-殴谷==が

なく魅惑を懸し來る十月一日からジャパン・ワー

本令十月一日からジャパン・ワー 及い散業単務放散しを決定する。 扱うてみた敷散野郷を、いよく 日も間間、年報十四回、二英人に 1時頃故笑意可の交貌協願でよったまというです。 卑弥打合歌を明煕した、八、九南 | 阿維夏蔣韓昌凌安二] は七日午朗 | 東弥打合歌を明煕した、八、九南 | 阿維夏蔣韓昌凌安二] は七日午朗

各鐡道事務所の係員會議

◆――夏の味能の王暦を占めるメ

職道の 團體募集は

唯べどもで、即数も百匁六十段ロンも出揃つてゐるが、いまが

せら(脳底は大西瓜)

脚西紫髄の第一人者市川右顧式

四時間回)京城県豊で間返する、 配は、頭洲巡案の弱途入城、本町 一丁月サッポロビヤホールの踏石 四日間興行 十日から京劇で

入場将五回、四頭、三面、二國の

部兩種社會式株事商夏三

橋橋 本本 盆清 江壽

★初 * F

戀日 田夜曲

i

普 豆千代

會葬御禮

ドルメン群發見

しめ三十日現金を受取つた個所で、神響に打電し三百八十囲を送金せ

何泊中女絵を世話するとて戴回

丁目常健康館中村ナミニン方

六日から三十日までの間大田春日

れ込んで形内各所の盛り温を荒し一【園城】既報、藝彩器では角上水一

興師範の敷地

本府視學官が候補地を踏査

ころ右は黄海道生れ住所不定金 帝国署員が怪しみ引会取調べた

石器に偲ぶ古代人の生活

江東郡に殘る貴重遺跡

開帯形片外、石鋼半製品、廣要石」たため生徒には飛ばなかつた、したは右の調査により廣興館と石帯、暖路したが幸ひ数紀の後方であついまって、といいます。

生数望の天井が突如約二坪ばかり

新話題を

提供する

小泉館長が散步中偶然發見

は無罪となり出版法道反のみ認め からそれと、跳金三十回の戦後書 の五名に係る所記蔵組事件は六日 【大師】 吸北道內產組亦事城府善

一即九時大印五紀法院內村弘物長

武明、李相秀、崔崇斗、金德翰

罰金の判決

獣面素焼の古代珍品

が中を企てたが手営が早く生命 型下でこれも強いらずを無んで の中を企てたが手営が早く生命 がは、1000円の

周旋詐欺 医三

人と配置されての程観事局選りと て陳何貴な支監領事に提出したが主人が一を月削から本書に契例録 朝鮮人園業書館が六日第名際にし

斷水廿二時間

【曹糧】疑前某連送話(内地人) | て下さい々と影陽城内六十一名の

六十名の鮮商人

連署陳情書提出

なり裁判所で振興的行中のところ。被告金領二十條例にして今後期何

と近づきなるを部院とし六月二十 地人 製には疑惑の 戦行戦度をし 光淡は歴史明らかな話歌である。「健康質前カフェーキング神響作置」して研究質解人の罪あるにより内 多数が内地人民主を製けんとする「開催的関格良確見でも」単格を当は、「健事物は地域環境主の器態に非ず」に扱かれるか何れにしても関訴人

然範襲したとめ五日午後三時から【仁川】永登浦娘近の这次官が自

その他家館の被害に至つては敗知

一人の被別に上す

不義の子殺-

半戦を占む

は郷と協力して佐々木智長過指揮してはこれが制策を繰り職山客で

闘勢二十名の大がよりなメクテ統

小院百ヶ班を配置してヌクテの

六日に復舊

勾履時代の石油取らしきものもあ

他立一帯は楽明らしい石間が料]

上を祭し、そのうちー、二は、島

配によるとドルメンは約六十基以

慶北產組事件

部が失したので低電は担信額に上の個点を変しの大きない。

管理構選が長となり定制選挙を明明九時から信事務所で製行、石橋

最後一名土物図を氏を火き二四路 面して

(金二前)學品版建選網は五日午

兼二浦學組 議員當選者

鈴行商人ご用心

脱ばは 電ボアイロンのスイッチを

同家及棟間の空家三戸を半端した

氏は

第9を宿舎には遊山地舎を改造使 く大日子後一時復発し送水を帰始用する見込である

と関らかな疑問を問つてゐるが中

心配から必要だ

止し永雪浦町や京仁線沿線は断水

なるべくは府内に

よって財一時間にして減火したがら出火し消防組、野祭司の活動に町二一洗液業七三八事祭司の活動に

一学出 まる五日夜十一時所内閣

群山の火事

敗十個よりなるドルメン群が健児 形は五日これが調査に批ぎその報 され、小泉年期刊物館長と小野駒

運河工事中に敷點が出土

博物館に鑑定とふ

萬旅風と関のため野州状況信号中

斯男]六日咸南國塔信報—撫松

であるがその一
脈
自五十名は一日 司令の一般的五百名は同帰第三部 際奥地に沿掛する即首周太平、桑

師範學校誘致をめぐる元山の大波瀾

町内總代解決に乗り出す

が前に送つて確定を乞ふとにした

水魔跳梁 大同江に二件

取り中殿つて深水に足っごらし郷田郡旭山西堂上町天間江沿岸で見 の所内西城里七八吳龍舜(こ)が大 【生物】五日午後三時年こ

府が単九八泉永夏の三男女雄度ご 規則近で水池中、湖流に押し待さ ほ附近の子供と一緒に大同門彼

一項1大同都では温度打倒く事 これがため各種において水

個目ころまでに臨射がない場合は 天のために施行朱穹の番が二千町

分類類案に対上旬の入口商工場行

農民の焦心

三分の一减收大同郡の番げ

おでん屋加害者を逃がし

發れて ブタ箱入り

の心中未強をきつかけに去る四日

大正町一丁月天が心屋西泉の女船の中はまだ絶えず、去る二十九日

に開出たが別者では直ちに手腕間、割に怒ゆる辺とになっても看動の側音と話に似た石帯をはじめ膝 全州に一川祖 の場音と話に似た石帯をはじめ膝 全州に一川祖 悲戀の心中

に出動中の同島野景盛三十命名、

午後大時间虚から約二キロの南方

武の多数を国施されて沿走した 除名の死傷者を住じ三名の撤退と

教室の

側に計画しその結果が投資値をし、目して松奥道泉へ置行車を行つたるところあったが各姿段は順る風、但三十二名が伝の二十八日央選を取るところあったが各姿段は順る風、但三十二名が伝の二十八日央選を

|時間内委員を指揮して緊急心臓を を翻記することにして十一時間の

公督党に明き師劉褒技院を派に公

として能たへ一方部事業は観典し さに出来す時の揺びに軽快を行った多端、しかも歌がの施配を題案 らぬ歌謡を来すもので一日も惹が感では揺れて歌曲別を選べて飛歌画 一歌するに等しく、所然趣味上夢か 師節的技術的四日到上町內部代聯合 接触と魔線の限歴腕が1時に硬鑑/駅たら黒線魔線の限歴観を一時に/ 度明改善成を巡察して緊急心臓を1を開起することにして十一時機に(正山) 撤過近上にある大元山の /の脚値砲岬を熨する状・これが羽/ 日公駅海文館の後を飛げ三日 4代)て公駅海を訪問せしめ帰班の最珍(正山) 撤過近上にある大元山の /の脚値砲岬を熨する状・これが羽/ 日公駅海文館の後を飛げ三日 4代)て公駅海を訪問せしめ帰班の最珍 せんとする程の大問題を惹起した。歴失し府政政政の巡用が停止する

帆船沈没し

三名波に攫はる

期間中に、僅かに1三つ監察(前) である。断には今年常は菓子が仕入名)を一般の経験に供したが、である。断には今年常は東京の薬学什入名)を一般の経験に供したが、である。断には今年常は東子の製造機が製造のでは表月二十二日か、良、養房中であるが若衣その製造機が発展の不良の製子を開発を表現したが、である。断には今年常に注意を観察を展開しています。

既は約二百圓、風哉月下取調べ中

≪美馬天地服氏の像

言言を指であの即習 に含んだ樹脂的製

日午町三時頃自城外川洪南洋方か

定州の火事

ら出火し同家一種を全焼した、低

新人出でよの呼び

興南九重里海岸で

一名は辛じて救助

→金元十八名はの三百十九名 ■金元十八名はの三百十九名 ■金元十八名はの三百十九名 ■

間には新人出でよの叫び繋が起り 国民の合族さを示したが一部有志

あったに過ぎず些職選提に對する 期間中に、値かに二三の路壁渦が廿八名)を一般の経歴に供したが

山五銭でもの南名で被泥溝は香井一線道沿線に伴ぎ辿く消遊あたりに の實態分香共師出籍感一(『三を主|伽を持つて驟の方に歩いて行つた 肌で逃げたことを養験塔から顕べいのでがけたことを養験塔から顕べ まで想在網張ったが、高級は五日 遠に能じ取調べの係首にはたる研 に来てもいよなと置へてゐる店政一郎花島から選交行を採取して帰港 と告げさせたため、器では主力を るのだが、彼が立去ると問もなく の途中、午後六時紀県南沿北部里 で郷生濃度は早くる田竿の五百七の沙雷に埋職院器し、西川城市生 十名を後駆する情景である。 の沙雷に埋職院器し、西川城市生 十名を後駆する情景である の指摘捜査中である。 となり金関頭外一名のみ辛うじての三名は淵頂に吞まれて行方不明 各は五日金崎観所有の帆船で定平 【威樂】與唐呂九加里金周顯外五一

職場無事に継順された。 左ほ主都 大時までに加賀者三名いづれも大 大時までに加賀者三名いづれも大

なとし、問題は鮮于水上(三上年)

福州神經濟人 共代單級事作田仙一

出籍地一の地位には智能を挙げて

威南の痘瘡

刑士ので所郷北南岩で蔵重円査し

業指佐雄氏、佐雄裕米業、頼山資

威興の栗子

加や肝をわらつてみるから子供の生『鯱地春八寺がへ込んで子供の生』

北靑にも流

登記されてゐるが日下下馬附に上

へるまでには例により相當職産を

つてゐるのは西村氏ら翅擬趾の外

奉化署武道練習

豪肚で骨々たる、自動車が揺れ途

李孝】去る四日午後三時ころ府 間黄海域で撃逝してある青年 蒙遊する青年

てゐたスリ事門の者であることが一直破監事性に附和電話した大十餘

で殿頭取劃へ中へ対対の見込み(名の小作人を去る五日呼び出して殿頭取割では熊野多数の見込み(名の小作人を去る五日呼び出し 雷同小作人

六十餘名訓戒 清津高女學藝會

行した。一同は山上で水筒を聞 自九時から前山へハイキングを も響れたので新世新船を中心に

愛用者 各位〈謹告

海水浴列車 大量輸送に 条鐵で待機

第二の國

質に奉存

|折柄御愛兒様には、益々御健かに御成長遊ばされ

民として、健全なる御成育を心よりお祈り申上侯侯 季節柄此の上共充分御心にかけられ、躍進日

ら八月末まで割引来山安を破り

「本塩」鑑し「青椒塩された頭餅」 ころしては肉塩を飼いてゐたものでのグループだけでもと機関を待つするばかりでなく自分達も資を伸 ヴィンの 間違にかけてもせめて山中遠の鑑んで米た概品と始を交換 フィンの音楽にかけてもせめて山中遠の鑑んで米た概品と始を交換 フィンの音楽にかけてもせめて山中遠の鑑んで米た概品と始を交換 フィンの音楽にかけてもせめて山中遠の鑑んで米た概品とかを発力するばかりでなく自分達を得る。 てゐた折榜五日の日曜は幸びに開 【大師】大師山宮師館近文相言者 接口線近事物的では監督の臨場に、現場される海水浴園へ北塁谷を吸 西五十八百名に、謎し一般を聞へる 避暑谷は一萬六千八百五十名で 今年の夏は昨年に倍加する人々が 個へ海へと集まるものと見てゐる

折角ながら骨折損

一頭も姿をみせず

の際。近 スクテ 群の 被写は 説 城、 ることに なつた (全州) 熊 嶺、 総山 地 宮内に 於け に 特殊 教 訳 を 安附 して 持久 戦 【大邱】六月三日城在大郎那新町 大邱奇坦象 平脚事柄の結果・二節一で平脚を 日平磯米地に暴行、金属音前間を 式が結準中墨玩師の平角発逝は子 對抗野坏戰

起稿と既しき標識四百七十米の蘇一分が男、次は機能の百十九名でこ をすることになり四日午前八時 | 支加入六名。朝鮮人男一千八十一 なり、孤民、消除組、醫院は一を合はせて一手官七十大人でこの 行動を開始し、三ヶ中脇十二一名、女五十六名、何といっても記 うち、内地人男三十一名女一名、 の受刑人員は加法犯、特別和法犯 いのは密磁の七百三十九名で大部 をいよく大昭にも敗散し旅客の 【大印】各方面からしきりに希切

始は來る九月十五日からで事務的 便に供する事となつたが、事務開

へ逃げたか後に一頭。数をみせず、男コーニ、女二十五といる内臓、に続り立てたが良いエクテは何國 名で内地人一、支が人二、関単人周山を包跡し四ケ面に配って一齊 なは男はかり、次が殺人の五十一

なほヌクテ結りは歌窓セナ指摘を一指どが不良の子殺しである

春川の學議改選

大都市建設を控へ

一千の強子はスゴーへと解散した一既然朝鮮人女が起く、これはその

ることとなったが、近く京城ので質十数萬四を投じて社園を新築。【大師】東拓大邱支店では愈よ

上致します。 のにより専門大家 「準編輯に成る各 ツトと、 窓衛生上節般のさの楔さいたした製して御髪用ひますれば、奉御紀れば、奉御記れば、奉 者用愛御 力仕奉 御年龄 御氏名

御販賣店各位 ^ 謹告

間何卒倍舊の御高庇と、ラクトーゲンの品質、聲假について 從來の御愛顧に對し將來共充分御期待に添ふやう專念致居侯 以て御挨拶にかへ申候 一層の御信頼を仰ぎ度く、 右御愛用者各位に謹告仕候通りに有之、御販賣店各位にも **乍略儀茲に併て設告仕り、** 之れを

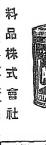
昭和十一年七月一日



3. 幸谷のオンセンス は 幸谷のオンセンス

發賣元

はおうラクトーゲン



社 8 8

乾

卯

東京市 日本

本楹题本町二丁

人邱山岳會員が

ノトーゲン

祝福の壯學決行

て祝盃を學げ記念撮影をして午後 処李函姫さん) 五時下山した(黙哀、百合の花を

社是として茲に十有五年、我が國に於ける粉末牛乳の先騙と 至り、 御理解ある御引立の賜に外ならずと戯銘罷在候 因るものとは申ながら、偏に大方御愛用者各位の永年に亘る 優良、使用簡便、保存安全なるラクトーゲン本來の優秀性に 力を盡し、幸に所期の使命を全うするを得申候 是れ、品質 改善合理 努むると して、無 扨、弊社は創立の當初より健全なる第二の國民育成報國を 共に、専門大家御指導の下に廣く乳幼兒保健問題の 糖粉乳ラクトーゲンを御提供申上げ、之れが普及に 化を提唱し、其の向上發達に闘する幾多の事業に微

切業の發達に寄興せしを稱に自負致居候 指針さなり、今日の如く多數類似品の簇田を見るに 一方我が國酪農事業の勃興を促し、常に育見乳製品

關係上 を有するラクトーゲンは、汎く各國に亘り御愛用者を有する 御提供 し微力ながら濠洲膺懲の幾分にも査し度く斷然濠洲品の排撃 然る虚 **層懲の發令を見るに至り申侯 弊社も此の國策に順應** 日歌間に於ける關稅問題突發し、 **稻申上居候處、偶々先般來旣に新聞紙上にて御承知の シラクトーゲンは地理的關係により、濠洲工場の製品 歴、世界最皂のアルペン牛乳を以て名高き瑞西に本社** 世界各地に其の製造工場を設け居り、今日迄皆様に 我が國政府にても愈

以外のア 御愛用 り年來の御愛顧に酬ゆる爲め、此の際多大の犠牲を忍び濠洲 手配を完了致し候間左樣御承知被成下度候 就ては、是れが全國百万御愛用者各位に及ぼす御迷惑を虚 者各位に對し、些かも御迷惑相掛け申さざる樣萬端の 工場より、從前通りのラクトーゲンを御提供申上げ、

あたり、特に永年御信用の余惠を以て弊耻の徼衷御~ に梅雨より酷暑へと、乳兒哺育上最も注意を要すべき 上、倍舊の御信頼さ御帰用の程を只管御願申上候

上を以て御依頼旁々謹告仕候

御住所

み、黄月は異雑にかけて、酢でど ます、他に五子を顔如にして、黄 皮をむる、心をとつて小口切にし

甘味をつけます、この中で、胡瓜 の雲を少しふり込み、うつすりの **ろくになるくらるまでとき、**

とキャペット林橋や自身なども

長と自身に分け日身はみちんに割

さつと湯をくいらせてから、せん 類皮をむいて帰切に、キャベタは に小口から切つておき、トマトはも雨々と説切れよくし、一分厚み

ておきます、林檎は四つ間にして に刻んで、ばらつと隠をふりかけ

の手数と僅かの染料でピックリするほど見事 褪めたものが際山あるのですが、それが僅か

△科□□、p1ケツ架・芋販製・草の繁築
二、腹物利用友郷染(形蔵柄出法)

能振つて型っておかわばなら

△申込所

の通り開催します。どこの家庭にも歴初や色 となたにも容がに出来る家庭染色調査を左配

△講師・東京学療業台場質問

梶原幸之氏

ねことです。既つて御髪加をお動めします

日間、午前九時より午後四時まで、

京城且散社來齊開

二本、鉛筆筆洗小皿古新聞十枚、エブロンスは帶位の品一枚ローケッ染用、鐚貨、テ又は帶位の品一枚ローケッ染用、鐚貨、テスは帶位の品一枚ローケッ染用、鐚貨、テ

原築 当手 啓告一冊(定價五十銭のもの) 海量 「一世、二旦間で金・九十銭銭但し家」

主催…東京手藝染色協會朝鮮支部

後接……本社

サラダです

間以に認識をさつとかけて、白

お願さんも難にる出來るお婆さんも

\$

家庭染色講習會

林檎等少しつくあしらつて資品能

間国の他にトマト、キャベタ

季◇節◇料◇理 キユーカンバー

既扱しませう

◇……先づ圓でも四角でも Chipter and Charles the Second Company of the Second Charles of Second Charles of the Se

そこでごく職職に皆さんに れて見るのも一つの顔見法

たら次はコンクリードの総合

クリ

ŀ

V)

お池

それだけ単備が出来

へて練る

… 固さは いた時、 ジ

つたり盤、おたまじやくしげ んごらう、みづすましなどを くなるぞして金魚や月島を侗 ○路の隅に小さて心でも欲し

は概のやうなものを立てて敗 放いて叩いて随め周囲のコン 短策型でも、自分の好きな代

メリートの記りさらなところ

枠を作る

ゆく太陽光観器外線のからだによ いことは申すまでもありませんか

しれから夏にかけて帰くなって

しれらも配にだけは大概よくない 行つて釣りでもするやらた場合 のですから、殊に海岸や川など

ふことがあります

何か見ようと思ふものゝまはりだし を見つめる中心に観化を起すもの 一種の中心性網腺炎ですが、

豫 防

法 曹選を浴かした水)につければよ 的を選して次にその薬を落さうと

そこで限に良くない紫外線の像一つておかれるのもよいでせら は跳に素通しのものに塗つてつく いのですから、これは空間関のて 居られる脈籠に削日の睨あたり途 つてもよし、既はかけてゐない方

から殆ど出もつきません。で目 かしてしまへば相當堅いものです でもかまひませんかたとムラになり側からでも外側からでも外側からでも 防法ですが、それには紫外線上け したものですが、一たん塗つて乾 に除るやうに、淡黄色のドロドロ ですが、簡単には普通の眼鏡(丘下の眼鏡(ウルトラジン)でも結構 ると物がゆがんで見えますから平 **るものペークライトパーニッシュ** (三邦) を筆で塗るとよいのです とし)へ関外線を完全にさへぎ 観でも素迪しのガラスでも何で 戦合 書漫案新生認願 (キマノイテンダ) (32)

8分子の

輕視されてゐる 升(の(衛(生

汗のため皮膚を刺戯し腫物や濃疹皮膚の抵抗力が繋いため酸脱した

「ヘエー人間の趣物とは、米だ館 て関かざること、先方では帰焼に

過物となりまするか。

K

と申含め、なほ、明日供をして

一申しますると、贈り風田家への一 「我々共が土産ものになって行く

し、それでは充分に注意数すやう なりとも、之を彼るに織っことな

できらちゃ、一种の長様の中に、

を献れた。兵庫は、

一人宛道人つて追物となつて行く

官兵衛季高の競生祝ひとして名品 行く七十名ほどの踏を呼出して、

提はよく洗べ

などと共に人間の身體にとって大い。 などと共に人間の身體にとって大い。 「」 などと共に人間の身體にとって大い。 汗は腐敗する 機温の期間をするためで、昼くな 切な跳れ作用を含みます、砂汁は ると皮膚の肥質が膨脹して分泌を させるのです、網のあるときアス 脈んにし、必要以上の間温を放散

> 脱するためです、婦人はよくヘア 出て来るのでなく分泌した汗が鮫とれから野い臓臭は臭いものが

は食べられない。

た部があつた。が、人間の鵬麗きと、朧か、概合ひから日を出し

らず日に致してはならぬ」

と、含ひ渡した。日頃から原生

先方にて馳走を受けるとも、

もして、近べますか……」

りとも依まねやらに致せる形式、対方にて、水一杯、白湯一と口た 先方にて、水一杯、自湯一

「なは、明日供をして夢る話は、

トニックのやらな異常止めを顕の

に用ひますが感急の過避として

||三述べたいと思ひます **釈視されてゐる汗の衛生につ** 的を臨んにし、體温を放散させて 既敗した汗は皮膚を刺媒する を下げさせるためです、左に等

行を出したまい眠つたりすると

ヒリンを服用するのは、汗腺の分

住題も角、にれはつまら四病系を

もので出来るだけ流ふ

悪くします、婦人にとつては自動 感じを與べるばかりでなく成詞を のつきを思くし、子供にとつては といふのがそれで、他人にいやな 汗は直ぐ腐敗します。デリテル 松の宝されラ 抵抗力の弱い人等は直ぐに風邪を

タル等に限ることになります、皮 れると励製作を使されたり開笑力 腰る前にコップに一杯追い牛乳を 野蛮族物のためです、これは一種の を 治行をかきます、これは一種の 皮 勢のひどい人とか、胸の弱い人は ひきます、これが度重なり繰返さ はこの整件を防ぐには常によく続 ふことぞしてその後へ滑石粉が亞 吹んで細胞なさい、ある程度まで



 スラソル夏朔子朱海への方は光! ーキらに心をあけて呼吸の通るやうた。見野に動物を動失の方は保管し、中に、此の十五人の動が強人つて大人の国の時間を動失の方は保管し、中に、此の十五人の動が強人つて大人の国際に動務中、家庭教師に履は 『馬腹を申すまい。五将の長禄の本院を持た。 中に、此の十五人の高が這人つて 一馬鹿を申すまい。玉扇の長禄の一路一人背く霜はなかつた。 兵頭が、

土産物として長持五郷を仕立てま 安然守を房の供をして行く者は、 は、此の握に於ては御既になりま 人能りを従へ飛物にて出かける。 航子長袴の支度にて、供の都七十 場に行くやらな騒ぎ、安慰守は鳥 各々際に兵糧を用巡し、まるで戦 してござりまする。併し中の物 さて、いよくし當日になると、 スルト、傳法寺兵頭が、「本日、

皮膚過尿花柳病

様な心持でノバしますと樂に均等

づ寒かな色味のオークル・マスタ 容法として經濟されてをります。

を指先で鎌の處々へ置いてから呼



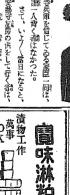






















てアプラヒんで来ない特徴が夏の ・ドの王座二重色化粧は深みがあ 9

0

つけます、これで立體的な二面色 ームバクトのカカオ色を押へる様 ねれます、次に目・口・稲の周四 ガーゼかタオルで輕く拭いてから

粧が出来たのです。



合してありますから、 云つて、皮膚細胞に受養と治力を見へ密、水実肌能スキソ・ホルモン性ラセランと で配合した、ホームパクトとオークル・ **治性特殊自味剤を坊みに複合粒子に包ん** はその獣蛇は…これには過剰な皮脂だけ 復の困難な思質な日ヤケを起します。で 経和に吸收部節する微妙な作用のある 物を挑地する作用の強い美肌部をも配 スターを常用なさら即です。それに基

■アプラじんで來ない満野な化粧が出來 一大きな遊びと信頼とを頂いてをります 地肌を弾力ある君肌にする野女性定

0

配 い無の類比に他 合 劑味白殊特性活

皮,脂 は

この過剰な

大公望よご用心

(四)

病にかくるので、眼底病とは、物)きたいものです くらあですめは結構で、よくឈじ すから、歴初から十分迷惑して戴とわけですから、その結果は完配 一、んかくると奇郷も想書配代でしわけですから、その結果は完配 へつてあるものも寒いやうですがからの反射で、これが壁に来ると 来たりします。瀬郷などがよくかからの反射で、これが壁に来ると ありませんが、いけないのは水面(向ふと、そこに悪いかげが見えて、直野される分にはたいしたことは、かと思ふと、何もない白髪などで 夏の太陽 大脆紫外線といっても、上から一けが見えて中心が見えないのです 水面反射 釣師は眼底を冐されますぞ

クジク水気の出る位がよく、

お休みの

日化 出來る 前に掴つた穴に、穴センチ乃

砂をその学分、セメントを歪せだが、玉砂利をパケソー杯 ないものゝ上に入れてよく語 砂利の五分の一で、トタン板 ぜ合せ、それに徐々に水を加 か板画品の古物など水の崩れ 三日放つておいて乾かしますに延のやうなものをかけて二 砂一にセメントーの割合に練 変九センチの駆さに塗り、 ◆……そして仕上げとして

と、それで立派な脳が出來上

です 女女女

場合に開きまつて直接太陽の 雨にあたった雨概を任す

が、とけ合つて質に美味しいもの 各極の果實の放香と野菜の甘味と

します、そして仕舞ふときには、

一 します、そして仕舞るときには、 ・ します、そして仕舞るときには、 得を揃へてしめ、漆の上を油でふ

いておきますと、別合長持ち 乾 傘雨

で下さい(若草駒塩)

で、御主郡を守護して岐井谷へ郎は蓋を揣つて十五人の論 が立 出 ない。第一城内において、御主君 島城内に於て、何事か起るに相違 物つたであらうな。恐らくは、各 切取取して相果でる。宜しいか? 門御もない時は。所く申す兵庫が 上げる。萬一、黒田家にまるつて 這人つて行き、衛主君を御守護申 処に角、此の十五名が長得の中へ 乾別が出來上りますな。 一點だ、誰らん事を申すのは・ 『呼吸が通ばなかつたら、人間の 危さことがあると見る時

は、御主君の御聞館までは手を騎 れぬで御座いませる」 一概度く、されば、黒田家において くが置くやう先方へお申附けに相 方にて、聞くに相違ござりませ せぬでう、何れお殴りのせつ、先 ね。何また名島へお密きになりま した節、此の五様の長禄は、御傍近

「左続か。テハ、子の傍らに評問 つたが、兵庫の申す事故、 くでも申附けるであらう。時に足 と言った。安西守は、誰しく思

らず共に油飲取すた。軸つたか

と甲渡すと、黒川県太夫始め、

るやらに設せ、領分塔すでは人数 を出し迎への兵を夢習く故、かな

醫學博士 渡邊晋

扉。長禄の中には何があるか」

診察 十二時年マデ及ビタ哲

大島伯 中江正 鶴

兵庫も完組として、 『ウム、其方共十五名が決心致せ 守野野して當城へ立民りまする」 ある時には長続を辿ち、御主君を と発悟の色を見せて答べた。 美 畵 演 代理店

スルと、安誕守の家臣のうちで

人間の進物

厭雄を以て聞えた黒川奥太天

近天同名拉斯· 田午爾縣 以海衛、芝富、大連行 医中枢 大連行 田子爾縣 以禮 | 学校 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 | 1987 |

場本三四郎などは、互びに面見合一 配得三頭、岩尾又穴、長非大之進、

せてゐたが、中でも岩窟交六は、

ば黒田家に如何なる家の都ありと

も、且交、各路の城が如何に殿重

陸来出して、

野口商會

が生を見にくシムラへがにしたり、回

いいことで

人院隨意 陽高

プリコハ

チャイロ

質で段勝した新数が商業の

朔州の文獨孤組出場

張組棄權す

庭球選手權國境代表

全社主船全年延珠選手服大會國境一侵勝戦を守った明州チーム文化

る 須強な傾組がいよく(染ある國境 大館に出場することに決定した と 「窓頂は同チーム)

는 <u>현</u> 36

烈 () 制限時間各八時間) -<u>m</u> =9, 器い題には何んと云つても既快な

對局者の言葉

(日) 五十の時には打込みの要」は「日)五十の時には打込みの要」は「日)五十の時には打込みの要」は「日)五十の時には打込みの要」は「日」

覇業を完成せよ 力・貫禄ともに十分 期待深し全京城軍

質すべきではあつたが八回戦に平質の朴投手の好投はもとより

顧々製作さる

富兴館

虫液

夜間の動のは頂にわるい、朝

0000

で立てなほせ

まづパ社の丘の一本松

で展たれたよけ否それよりも一・鳴たれるのを待つ程の気積へしなべきではない、全点境重よ

最初のテクニカラー映画『アラア

高橋々登場

組

マンドリン

九日午後八時府民舘で

学ん。 一回出面 日活の金優島 開閉一回出面 日活の金優島 開閉一回出面 日活の金優島 響力衰縮 闒



中中央館 孫所映影社提供プラウンの怪投手

超江大生·羅門光三郎·原駒

お江戸日本橋

る事ではそう一名の世界ではイックの世界では、一名の世界には、一名の母母のは、一名の世界には、一名の世界には、一名の世界には、

京姓本町二・館本国一三八

(G)

+

株式會融北洋路會 魯漁業株式會社

|界好調を反映 **化然戰時**供態 萬餘圓の激増 輸移出入何れる最高の記錄 は昭和七年を凌駕 中央銀行總数田中國三郎氏は 普銀増設が急務 財界成行を重視 斡旋品目決まる 産契の共購 日産から 或は底値 田田 (100 年 100 年 移出を来た五〇岩を来ナシ白米 九八〇歩大豆 ると云ふ事で 北鲜東京行 東京行 機門一名古里一清水 第一 第十三十 C山東日 第一 多古里 - 清水 - 補服寄港 卷古星—尚水—勤賢 卷古星—尚水—勤賢 門司基礎頂行 内癌业路過 金山出物



不照十一年班要求意興は西西

要求總額千三.四百萬圓見當

川崎坂工事等に寄手する、一方豊による県創船理の度陥、清漢一

公益財皇の増置、職選紹介所

間地の協議を計り大京城

鮮滿兩土關係は

地した、響官院出師して各地に置いたライヤ勃起参加人員總改五四に トライキ教館書加人員都敗五

緊密度を加

外に社會事業の託別財の新設、
「在水の沸落裝置等に約州萬園、
「根本施設の汚物貯滞積の設置、
「根本施設の汚物貯滞積の設置、
「根本施設の汚物貯滞積の設置、
「根本施設の汚物貯滞積の設置、

行はれ、これに関して各職的は

総ない所であるから、司法以西案

會議々題内容

鮮滿台連絡運輸

より文相官既に御い門を明き間

東京電話)文明省は「日午後」「臨紀の交換を行った結果」

文部省態度動かず

義務教育延長

部のは著に脚する船舶のため来る

アーとして別応し おの作 北日本宮部、大連汽船の子曾建 もの作

工三日から鐵道省に開く

於て統法由より司法國策の説明」る上において必要であり之には異

分京城建設に伴ひ する府豫管

國策として提出せん

ける林法相の

おのである 大会の取迹を集制改革をかろんする 内容収迹と集制改革と深間し層 大道の年収延投業に動するの政治を であると云と意見があるがこれば 関田したる上はあらゆる機動に各 方面の年収延投業に動するの政治を 活めることに究めこれが選択を関 するである

南洋拓殖會社 要項等决定 心とする英能群各関勢力の凱旋は 的地位は既に高められ四川省を中間治下にある四川省城成都の国際 【東京電話】 丹藍納的代以來中央 **反都總領事館**

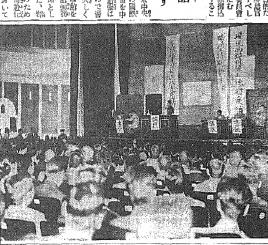
新市的提名を貸したが馬根数相は之に飲息を扱う

省に 提案を求めたのであるから 閣議に提現内閣は 庶政一新國策を 樹立するため各に歌きされる信仰である故にも日の認証において永田和書より

かと見られる如き政策を提出する向もあり内閣は國策の洪水

外に出しても何人も 首背し得るものを 殿出される國策は 現内閣が 國策と銘打つて

【モントルー六日同盟】海族原統



聯盟

の干渉攻撃

ネヴァよりの翻途突如ベルリン

五十四部とみ)電力のはの五の 「丸之内大しどルに重役的な明さ 西本並二百五十萬國, 百十二萬 「東京芸術」朝鮮電力開催では上 南鮮水力合併 よる顕版は全く不 る原告文字の描述行機構帯によ のである▲モニ 一年方ヤードに 問出一色々辿步 になってをり で風の飛を納め いり市経令によ で大都市上空 北支端別を

日満アルミ

| 西部大臣は民雄大人、平井出龍和|| 龍道爾局長を访問、午後三時半起|| 内地訪問を終へた瀬間闘挙形形交|| 今井田聡和總監、井上聡原、吉田 を題行七日午後三時十分。のまな、通節大臣は通縁を通じて心中左のを避行七日午後三時十分。のまな、通節大臣は通縁を通じて心中左の 通路大豆は残職夫人、平井出船が「最後、脚軍軍官、工会がほら六名」

新設ながいることに高出かいることに

学で背くには▲破 緑でも形型三丁五

オー、ケー、パ

勢をあげる遞信從業員

英埃軍事協
う
急
ぐ

省岳郷城門委員ベッケト氏は大日 | 鰕定の文戦作跡を急いである「カイロ六日詞語」イギリス外跡 | けエデブト歌暦と指観、先づ軍事

水力能略によりがあり且下 の記書を受けたの記書を受けた はんとするものだいてアルミニ 行許を提供して 面視のかどで ンゼルスア

李丰惠典社 三原 茶香辛丰惠典社 三原 茶香辛丰惠典社 三原 茶香 李丰惠典社 三原 茶香 中间 阿里 第二 上級 阿里 中国 计归 强酸 计正正 统简单 计归 强酸 计正正 统简单 计归 强酸 医皮克黑素较级 解 一位 医脚 公立黑素较级 解 一位 医脚 公立黑素较级 解 一位 医脚 化二二甲基 御り 按摩划 器や観影 (製) 城 (關于6) 奥村 五十以 つの悪路 果嗷 號 昌幸

珍女木納凉船

金融では、 一般では、 一をは、 一をは、

(4) 夏の女・お目見得泥棒現る……(3) 夏の魔・三行廣告に釣られる……(3) 夏の魔・三行廣告に釣られる……(7) 夏の嶽・巌暑地の僞大學生……

浪曲界人氣者祕話

平後四時五十分設 字川綿督は

手の魔

光光 量化

3

(蘇聯) 籔原檢校 籔 原 檢 校 遊 湖

「全球型器」 放牛会排件 ●銀帯障道・電影が関連を表現の発音・

◆定價二十錢 二屆 ● 新三十 博文館 ● 新三十 博文館

おいて決定を見たる軍事扶助事業 10日 さ 6日本共山平一部 出土し日内相当即に加か

2 公益法人の原義施設を助成する を指理すると共に公共開催文は を指理すると共に公共開催文は は 1 年の他の単項中軍事扶助を

たので日下機能を加へてあるが同一機能緩緩自の立路を保持し握る手」の問題の範例ともなるものであり

湖市山

+

は我が前國政府にも公司が持立し、非職監職・確を重量的に明示し非。り将来ベルサイユ信約成記その他は名イギリス歌層の復義について、如言楽には劉貴切討でこの職態、 後庭初の職態圏との様的節節である東京出面。 マントルー湾語にお 「定につき無貨物に海坂せられるが」 測治したが今何の様似が 崇旨庭 医

佐藤大使に訓電す

夕刊後の市况

⑥幽靈見世物の小屋で死んだ男の死んで浮ばれぬ若い娘の戀心の靈の中でゲタ~~と哄笑する娘

とした。記

楠賴正澄

强硬態度を表明

ステーファイの生産十倍

担防の協力作業である。整確け

便せざりしことにある。即ち一部 関節の行動は伴はなかった。

派の諸様似は、二途に一新の世界

の大説を知らば、身を高属に持す て来た。最もその問題には、京城 に翻版すべき可能性があるのに、 を密にすれば、中心地帯として大 間城あり、仁川あり、平<u>國</u> 獅子郷の目ざめ 黄海道を突つ走る という。 大工業方面において、日本国際日本 大工業方面において、日本国際日本 社が里院工基を初め、朝等的社会 世紀工場、有限税本制での自由が日本社会 一条 一個人の自由が日本社会 一条 一個人の一工工事と確全様の工工事と確全様の一工工事と確全様の工工事と確全様の工工事と確全様の工工事と確全様の工工事となる。

工業が著しく與りつゝあること問

殿から畳めて、各地企業家の設誠 が高まり、歌謡の心が燃え、資産

また新たれる力としての武によ

東洋レーヨン 不詳 政京 人組 不詳 四三・五 百六十萬封度に比し著しき進戦で も知れない

早くも探算の有利から射薬に棘身も多く、新設人鍋質些のなかには

し、若くは略身しようとして貼る

封度に當つて居り昨年中の年産六、熊戦の歴度を取つて融られならば四題で月産にすると約四百八十萬、洲に依然として何處までも日本に ある、本年来館には、昨年中の年(含と同じやうに日本の報復手段に「れがある、共處が闘々の職だ百六十萬封題に比し著しき遊戯で、問題はないが、若しも加豪陀の揚」すく、湯飛に足許を見遠かれ

て、生産質吐管事者としての悩みため、別うした配題の歌にあつ 脚脈はないが、若しも加震的の場 は、流洲の今後の態度である、産

なられといつてその復活を登想してアイが低ば打撃を受けなければやうなこととならば、難酷めステ て、その影響をして居るならばま しも近く日南地南地路が復活する

で軍馬に徴収せらるるを愛馬家は の鍾削が相當もて難され、明二歳 のときからハクニーやサラブレフ 医産地である。

火が愛馬家で子供

」れなければならない。

図策の途行 退しつゝあるかを考へわばならん る。産馬県側の緊急なる情勢にあ の上にも、適馬の妙聞は最近であ

自向地方の馬と並びて、内地の名能登場は、南部語や三番馬、際所、産地の百姓に生れた。私の郷里の

の立場、東亜全局の平和のため、 ん成少した。東亜に於けるわが國 四 ▲內地の牛島頭藪(應林省經計) 大正二年 「至子」面(2000年) 版 士年 「安子」面(2000年) 版 士年 「安子」「安全」 版 士年 「安子」「安全」

なさい、これでも重力の法則がどうだなんて云へませらか? 置いたがけて整然と中空に磁たはつてある神ならぬ痕烦情報を御短業」の一つです、前で置つた一本の解切れの上に、片手をちよつと

瑜伽教の

ひし、イタリーにしても然りで) 開祭以来その國際開催は急迫し れつゝある。農脈用には、わが國 用馬の領分は、だんく、崩少さら になる。朝鮮で間後の蛮馬処職を 既馬を許すは、馬の値を高む

られた、脚北と点。海道に御数路長 ととやが鹿島戦動の支郎である。

升毒に對する 血清法の 意義

の七割餘をしてゐるが、この大半 |を以て別題の醒膜を精弾するもの

思想が乏しく、常に好質その他の

の及人を占むる跳派は一般に經濟

であるとを知らればなられる努力

既さないものと知るべきであ

置その産業が「婦人腰部町面保護 のか二十年も真偽骨を戦党、 無戦一新の彼に乗つてとでもい 鑑案者は群馬縣桐生市の大山

徒である。その使徒が生徒に目さ

機の危険率

何なる學術的論據ありや 丹毒と血清療法は如

恐れ入つた發明

農職」の名を精りて、特許第一 い経験からであるといふ

現在の黄麻道である。われらは、緑から始まりつくあるといふのが

ら始まり、都質人の月がめが交通

被労を心るには 着さと

▲朝鮮の牛島敷(農林局統計)

な氣分の ナル香水に

限ります!

汗ばむ夏の體臭を消す ナル香水の一滴は 社交に絶對必要です

大学ナル香水小液一個お買上げの方へ

「あい**や男**を 即時進星致します

販賣店にて品切の節は大リデナル香水 れば直ちに右容器を御送り致します 小瓶(定價五十錢)空筒壹個と三錢切手 一枚封入の上左記宛御送り下さ



川敷地に

だ牛敷頑張る 愈よ説諭班を組織

聴かわものに鐵位

歓樂地帯の民有地

風二干噌でこれが精製され保税工量(朝石開此)から移出さ **歯に延出同社のタンクに返出中で日に/ 赤腹を水面に現し 省いた時より一層の異彩を放つてゐるが今回の輸入既曲は**

でル山街の発表は問題でなくなるといってある人もある種でに全節第一位を占むることになる。からなると別石の開放金の一位の仁川の三百八十萬國を実破すること二十條英國、正第一位の仁川の三百八十萬國を実破すること二十條英國、正

船年収入額百八十萬国を加へれば約四百萬国近くに上り全郎 入は年間二百十六萬餘圓を増するとになり、それに従來の歸

城連一部に関では来る十三日か一

守備隊減員に伴ひ

加陣を選化

青年警官冊名を國境に増配

九月には更に増員

予館社の油槽船県亜丸 (二三、五三一場) は目下明石様

「威脅道跡が建てられるといる戦勢さで毎月一回宛撃人するとその鵬在領は強く勿れ十八萬條國により、たての一回

朝鮮石油工場のお蔭で

元山稅關の收入全鮮

一校は完成したわけである。

る言意質を得た陳浦野は左の通り明年度復算に計上、通過に努力す

六日上城し本府省局に陳何の結果 養河水、韓灰米、李山藍の四氏が

城津の春繭

出版のもとに七日午後八時から共 (開放) 府

「地内都南面型流量校々会は同面」

開除の憂目をみてゐた削律漁指の 近年間理算に計上されながら採年

一環公洞に新築中のところこ

五日午前十一時から間

のであるからこの観石工事一つが出来ただけで元山

の原油輸入で

關係各談で綜合的質行系の「を設置し標品一千二百米以上の高」

んとする案である

岡山縣特產

【威興】阿山縣産業監督の第七回 見本市

内の自給自足を糾る像定である

郡南面普校

因に移動先に當てるため坪三銭の 何に及ぶ今日、たに少数は立辺か 借地料で明放を整明した金盤甲氏。即に一般の經過をもつて供止。 関家の野刀を扱くことになった 現地武監を行った上なに成出を

七日を配過すること既に五

々しい幼な子の水汲み

|成員||本年班成開の脚洋車第1

南浦の水飢饉異景

正居住的だけでも一、三百に達し (祭典は(上)ずらり地チャででんでゐる、小歌運動場附 遺を上つてゆく野は縮々し

健川の泥棒

一時間で御用

に適連すべく決意してゐるが、言 「蔵異」は中心山上脚・ニュン 咸中鐵道 加成質能に脚原地方信任 質現期は 十五年存り

の上に居住してゐる指は時間給水三度の女の子までが小さな機御至

出退を完了。したが「血」、前限たる。 堆肥製造 「卵に残めるとになっ

概去を得たずして低に百衆十戸の「間を堆肥ディとし各壁脈膨力して、関助はその後順調に並作し、強動「も二十五日から二十七日まで三日間のほその後順調に並作し、強動「も二十五日から二十七日まで三日

期はその後順調に運転し、強調・も二十五日から二十七日まで三日雅神】河川戦地上の工作を網に、 支均衡を加するため七八兩号何れ

配表と同時に民有地は一點平二十

に至る四百五十米の道路施設役の とるであらうとも個へられ、かく

して即色なからしめたが、指定さしては思惑連の策勢も度型されるの 肺帯の指定を電光石火的に即日 難を避けるため、一括公園の途を

た、質局では賃付を許すか、吸は「鹹い愉騰を示してあるり、代表都数名は四日郡に田頭し」とみられ、これまた「

者は急機能師の結果、有道有林父」あるが、右敷栗地帯設定による緊圍の窩値を號へるに至つたの營業。協出方法については過ぎ等勢中で は現板林の貸付を額出ることとなる利用主の負擔として施行するもの 有林二萬四千坪學校林一萬四千坪 は眠る注目を惹いてゐる、なほ都 あり、その他は民有地で右指定一部第一版の区制機から右歐梁地帶 歌樂地帯的人萬年の内には道。で今や右に對する關係當局の態度

料理館を集職せしめるいはゆる歌 決定してゐないが、道有林に對す る當局の部向は貸付に作ふ事務然

官有地拂下平出願

選氏の投資に借つ外あるまいとさ

『原門』 阪南道地営局では大日道 **咸南の莚檢査** 質施方法協議

台資を明催した、咸南坂在の選生 制、生産原動の方法等に関する打定を中心とし検査質問、生産品統 して本年度から實施する建被意規

弱つた羅津の料理屋營業者

地價鰻上

後には二百五十萬枚まで観光し道「を構成する当じまる。何右と麒麟(つかない)を構成する当じまる。何右と麒麟(つかない)を構成する当じまる。何右と麒麟(つかない) したがぶる九月には更に大七十名十名を開致して附着第一線に増配 物から元上版明たる青年重要国ニ

難に守備継載質の際急對 在所能とすれば宿食その他の路時

戶籍偽造

威興] 元定平圳姆林面長館最容 には本年二月前地公司四年を確 懲役一年 求刑

楽した二女爲相に新上公二五年生一 長節からの後報は不振をふっ飛に 以上の如き待機の姿勢にある近極

干がの敗地で盤よ十日起丁式を納 大师、工製四萬間で竣工は十月下 上青」行望の遊立時院は西里売

日魚の煮汁から

|開城|| 府内湖月町四五七年以東 よ、は去る五月六日京城南大門外 に送してをり御内全體では損當に 一世大の機様である モヒを密質

在三内面の被性面積だけで大干炸 個人類的近の記支那人から個酸モ

ルトネ六十瓦を買ひ受け自宅で削 間島の講習

最

新

プンポ卷渦リクフ

いる、宜しく御

神戸市林田眞千歲町四丁目一番地 型特約 蜂贩賣店 星集

募

日本農機製造株式會社 振替口座大阪七三七〇六番

所で春頃の共同配役を行ふが内欧 一千萬の見込み、建館は黄三 【技山】改山野便所の王念宗散命 淡山の急設電話

前津の築港

外年に實現 期成會の努力酬いられ

> |の個人試験を受けさせるのに年齢 | 登底で郷軍会員に對し原軍につい | 通り 問題せしめこれにも問題した戸

期による不實の配載で入學を許可

【開握】六月中鄭便局で取扱つた 開城局の小包 さすがは豪都

内地子の他語外國へ移輸出した小

観役二年を収載された、特決言語 | 包有温度物は一萬 | 千八百七十七 | 高語舞校観及に影響の元山智及三地方法院で開かれた第・回公特で | 包鉛値は認数一千五十九箇でその | 【元山】今回の襲動によって勝北地では、 側である。この中ですが藝部だけ [元山] 今回の異動によつて威北 輸和三郎氏は七日午後三時退元新 元山署長送迎

完

IJ

ク

7

れた公文都国活事性は六日成與一

日午後五時から約三十分間守備線。る、右小包の主なる種出先は次の一九日午前九時者元の割 皆内報あり道社會議では府我都守 に発物内申方を砂礫した

機 縠 脫

元山局の座談會 (元山) 野姫局では共産共産時間 頭を歴に所列重な人々を局に指律 して座議院を明書店は野姫竜信野 野姫甲務一般に買る服然なき希思 野姫甲務一段による服然なき希思

產製量多

相當の大群が回游し來り

待機の漁船總出動

引続き漁獲中であるし来り「俊五十丁宛の水揚をみ

羅津邑會

府昇格の 準備を整ふ

> い、この意味から當分は人事の事情のない殴り初秋の候にした 老

により脱事の敗良観選を闘る農家一の水法護習會を明 【敵興】大日本監督が起家の規則 **呼略粉解長は語つてゐる** 農家組合を表彰 全校生徒百八名四日から三日間

機摺籾式導傳無

旱魃の上に 瞑虫が發生

坡州郡の被害甚大

誇

ちに秘密質に入つたが所昇格の準

地方に今度は原虫が誕生して歴史 作五別減収を模型されてゐる坡州 (攻山)早熈のため植付不能で米 農民は『泣面に

道立北靑醫院

は泣き面に鱗の態である。大日墩

上競 3 機動機温量リ クフ

を品秀優

| 「野島は翻する都守路関係を附版する都守路関係を附版する。

行に決定した羅敢邑の行城所以後「羅津」本秋十月一日から府制施

峰

咸南水産試驗塲の宇野技手

を造

見事研究に成功

方の四日部金百圓に奥せられた

₹ ₩ ₩

が子山は京崎線博館山野から徒歩 優に知の耐暑行車を行った、因に、の 優に知の耐暑行車を行った、因に、の では四日年間と時から勝込園 年間では四日年間と時から勝込園

料とする頭面製造減量中のところ く製造院主任の宇野に手は之を取

る臓器の悪汁を利用すべ

・ 図(僧御殿百圓)を贈んだもの。等時半から宮殿育彦を贈る通殿が ・ 選川戦で個人態が中に例は、を動行、同時に功勢機を変数にい ・ 選川戦で個人態が中に例は、を動行、同時に功勢機を変数にい ・ 選川戦で個人態が中に例は、を動行、同時に功勢機を変数にい ・ でがきる原則、てなが著八百様の遊り館と影響は ・ のでするがはませた任所、突を使つた

「蔵典」般所水産減減級のクリー

の程完全に高級隣回の製出に成

洋船店で翻を一足流んたことも自即記の物器の外間を重き里路四島 不定前科一犯的時後、ことが明、

秋に延ず署長會議は

した、深葉的にも関る有利であ

でまだ関似は観彩したい

增築落成式

ねて増築中 開城」か

署長級の補充異則も一段語ついた

【 通ご 医疑部長病部も終ったし

細羊事業に

一部へて会に延載をよっひ去る世儿 慰蒙せしめたが、以来「日平均四 喚起してある、なほ平脚道正断院に不動」 筋内の研究所は既代前を ち合計士 名の観査を出し所属を 防疫に 務める ナカ肝説に 注意を | 報保をしめたが、以来一日平均四| 喚起してある、なほ学展題立督院 五名の赤利思者を出してゐるのでの際染病説は超磷酸となり有能く 傳染病に戰く平壌 日夜料亭來多稲に榮轉した市品

道立病院も大入り満員の有様

する赤痢

で助年に出し六百四組前の南加

琴湖江の

特権現像として織いまればれば

à S

迎つて具體器が作製されるはずで

たものである

水原の衛生

佐町 玄米八手七百五十 版の砂人

好況を反映し目覚しきに翻を出げ

機械類、木材等は脳内の

の他和洋服、人語知系、緑綿等

神戦の機器に関し題談を選げたが、には充分持ち得るものと保證され 長等路路、約二時間に亘つて静山れによつて旺往の大洪水記録高度 | 題内で松本内務部長、坂本地方部| のであるが、案外結果はよく、こ 米の移出が旺盛で前年よりで

一條石の増、この外生系、肥料、 た、又移出では何といつても鮮

原道師を訪問し所認からも上野内 開樹足し工事は頭部では多しい。

務拠長、監督助業係共事出席し近一みとして研究されつゝあつたたも

重加、支票廉布等人荷好調を示し

野球に内尾してあるが、これと同一足して事は、雨率の増水脚までに
神戦の関幣批算税は盛ま来る八月 総筋コンクリート機関三米三七艦

参山居民唯一の守護神たる。正頭山 寺湖江の熊洋橋長さ三百五十米の

【金山】朝鮮最古の神似として父一年十一月から着工の大郎東村街道

ちかく具體案決定

時に地震の神戦を横振したいと云」はと至馬力をかけて荘夜飛行勢力

ふので山川神社世業派に氏子総代

した結果この程有岸の石部一部を

る、その他語品中の主なものは 調で前年に比した西国の増加で でその他阿爾思、 変。 監証を入

人は河洲産業、緑豆、河口産胡

単同月より四萬餘田の増加を小 職子等大量人荷あり、ボルネオの

【大印】國政約五萬國を以つて昨一

総上本年に入つて井戸二萬八千四一版上郎と明秋七十萬國を投ずる明

機脚工事竣工

異似生主任は特に断生の施設に留 西染病が増加するので断田書長、

【水原】低い岩米の加はるにつれ

上々の成績

| 工工工 | 二 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 |

九七八三九、三五二六〇、四六九、三九七 七二、六六五、五回七

大邱神社 造學總位會

社会形所で臨時が仕事代は国に 角用氏の水脈により各種とも能に いて協議、過版内研省呼ば間接職 後御遺膏に刷する今後の方面に 地方側長から大量の説明があった 所から竹本内が説長室出版、題に 近から細見地方部長、中国時間、 天師】六日午前一時から大郎神

ら三中井支店にフーリストビュー | る鉄光線像の設立を変換させることの三中井支店にフーリストビュー | る鉄光線像の設立を変換させることの一年載しの影響となってあ 大邱に観光協會 J・T・Bの新設を機會に 府民間で質現運動

これを観動に顔玉部神男が中心と「分が附金獣水時代なので貫越書で」ではないかとも鬼妙法されてある。同一ではないかとも鬼妙法されてある。同一ではないかとも鬼妙法されてある。同一ではないかとも鬼妙法されてある

海外へ海外へと押し出し

去月年同期より二千七百萬圓も増加

佐賀米移入は特異の現象

内容元質をはかる一方法として敬一百七十五ヶ所、何所一九千九百昧

践指導の武地を構て來る廿一日か一回の收養新設を行った、なほ各配

冒貿易の飛躍

てみるので、案外早く實現するの 機能のないことは甚だ面白くない 市をもつて跨る大郎にからる常設 見られてみるが、一方館内四大都一丁つたほどの素明らしさ、三日朝 と實化を思む聲が俄然岳まつて来

も一百度到るしたが、内地方面へ の中心無差品として早くも登長的

には組賃の正條曲折は受れまいと一きはものゝ一日も経たずに費れて

人派を呼び注文毀野の有機である 忠北の徴税 完納に近い

肥充と家屋は彼し状況は新設党を【清州】忠北道本年度第一組分片 口にその成績は前目されてゐたが

光に晒す▲十二日(南生施設版) 路の清瀬市街美化を計っ下水流等を増減し衣類磨具を日 日)▲十六日(市街美化日(清潔及清雅日)家屋の内外 を服用▲十五日(尚生遺 程注意し一姓"宣傳する▲十一十日(宣傳行) 保禁詞に罹られ

島、面協力して左の如く行事を歓

底せしめる野

を服用▲十五日(海生班記念寺 日)赤痢・勝チァス京町内服薬 風の退治▲十四日(傳染精成肪 観の退治▲十四日(傳染精成肪

物生商會、加茂商店、松芸司、原質品を寄贈された共資紙型で居 (元原) (同) [

烏鷺相搏つ熱戦

第一回の中鮮園碁大會……

【釜山】町内の磐通際投り設をも 明確の限定(幕眞はその底に)明確の限定(書」に対して、田別、佐口、中水の子位を現、十月上旬、田別、佐口、中水の子位を現、中月上旬、田別、佐口、中水の子位を現、田別、佐口、中水の子位をは、田別開館道に後援を映べられた 選として左の通りサービスブラン けた金生徒を今度は八月五日江華では加盟百番物所では避暑谷の戦い。 長長は水焼調機にスタカリ割げづ後山鉄山 海の戦しい夏ともなつて いるのを蹴じさせられるが、伊藤

|策として左の通りサービスプラン

を樹て、七月十日から八月一杯ま

で宮殿頃の大園引きを行ひ海への一

災急党派の強行車に、男の學生にの山山で同じくハイキングを「 島のハイキング、七日辰、仁南地

「永登画」安設プール解信館では 安養プール開き た民東東の各級校は例年児童生 0~の快行事を襲のフログラムに を放を制放し来常な効果を剥げ (1 受べ 表演 と 大田) 漁 である (2 受 を の 大田) 連 (2 下田) 漁 (2 下田) 漁

大月州日現在で月別校は調定圏 大高三千百八十七回中收入務が 大高八十二百八十十回中收入務が 大高八十二百十二回、室園苑は間定 前大高二十五百三十二回、少台は 九朔一分四回といふ好放額を示 してある、なほ月別弦の如きも を部とるな人が合入側を多むし 、窓園院は消州都の八割六分之回 が最低等でこれも殆ど大部分の 丹鳴心は謝祝夫に完納してゐる都が九削以上の徵收成績であり

日の領は今春以来権秘出の不振か

等を確立することに申合はせた

日立ちこれに反し移入増加が注目

ればその總計二七、大六七、四〇

指導講習會 釜山の教員

期の相加となり報題の一途を辿

日までを防災週間と定め転在所、

スー、赤剣一、附五十七名で前年 妓、妓生等の協画も厳重に行はれ 度に出し三分の一である、又種如 こんるので三十六名中一名の保御

安東產麻布 需要別で躍る

神域を擴張

昇格を前に関係者評定

況により琺瑯解説は食品、洗面器

今る、何は六月中の四級派の概況

心した府里が常局では私後語音の一 製造教育の補助機関として相當な

積極的に乗り出す事になった 機能と提加して普通政府の普及に

質量をあげてあるので、ことに看 二ヶ所で約三千名の生徒を収容し 【釜山 昭内の私殿部所は二十

る毎山街の関風の削途を祝福して

萬丈の気を吐いてゐるが、愈よ膝 の販路を有し道内生産品のために内は勿顧、内地各方面にまで断孔 ところから優北安果姫の豚布は鮮 【大町】品質の飛び扱けて優良な

釜山博覧會

「玉鯱館に躍けられた五十茂の如一十六公員を終々と哭破、この金融的の筆節となつて数日前端町の四十八萬二十二百六貫で鹿割日標の 【大郎】 智濃の共版出題りは去る | 百二十二歳七十二百六十六個、即 五日で大監修了したが、総数量三

協賛會設けて準備 し既に二刑五分の遠庭である。な 高石の辿り

これ 【『楽山』 廿萬附版の書館の問とな一部六十國年前窓の答山大脚壁館間 「変あつたが、唐では去る四日鑑賞 「理師」「大脚であったが、唐では去る四日鑑賞」「異館でする」「面、所書局では墨談であったが、唐では去る四日鑑賞」「異館でする」「面、所書局では墨談であったが、唐では去る四日鑑賞」「異館でする」「面、所書局では墨談であったが、唐では去る四日鑑賞」「のわけて帰助申請と続大版の助力」 いの語言も面工度部所側と一致提 」との音に協力して真全を期する語 動地することに決定、問題の協。を仰くうに本院となって交渉をす 最後の懇談會開く 五、八八五日春山城 → 点型質量電域 六型質量電域

總出廻量三十八萬貫 共 販 人 體

不自由のないやうにして近く盛いとし、依定物も色に柱を白色にお化粧し彼店も色にお化粧し彼店もく一帶の建物の屋根をグリーンに

建國功勞章赠與

本変 参山、草柴、徳山鎮より 署 はへ登陽した行復信太郎、永岡本変 参山、草柴、徳山鎮より 署 はへ登陽した行復信太郎、永岡本俊大人三五観、大郎沙上順片 程度技術主任から遊覧が悪く主義し、大郎と称している。 深川、秋風朝の地方自民有徳の六大成ら上日が掛ける。 一十百年末の三十年後大時から大成

【河東】既報、河東地方では去る 河東は二千圓

の保護は五日子後に続いたが被害した。四日早期から葡萄の消散が、皆そして

金丈、土方、安康より二川引 選より二 安、郡北、坪村、班城、丹州よ馬山 三渡地、趙永、昌州、咸

観察補産局長(中)選供配)は 資業主未亡人

十一時新聞記者立宮ひ披鉞し河東一覇は申込者多数のため三日午前 東拓出設所に登先配を込め、他の 境股調富では二部であるが一定は 【預果】河東野便所の今年度位話

河東の電計制當

男學生も 色なし

エチオピア色に色あげされた女皇 統訓練を低日月尾島に行つてゐる ンと協力を練るため全权生徒の水【上川】 仁川高女ではこの夏にウ

生能が海流に欣舞する朗景に心強

酷寒 が祟り

李極を女し、その役引館を権田氏、極は目下の魔器変滅され常平所の三年計費で 月尾島 附近に海 寺の で全職し二川沿崎に於ける海台が に確如金を交射突動、仁川名物海一計造に具象 【上川】 仁川府では去る七年から一の冬から今年にかけての酢寒間さ 海苔目全滅 仁川の新名物失敗 沿岸の移植も経望

て在りし日の故人を思びその 自公署及び麒龍鞭北一院を代表し一

が選れ新たなる哀歌の説を読ふれば遺族離り婦人職から嗚咽の撃和は遠族離り婦人職から嗚咽の撃 方に募る人のみ』と慣師の情報を聞びに虚火を失つたと同様唯々途 は空しく繰りの契然に部下一間は 住を見管御行も申し上げたに今 徳を 明八て記下の舞 透透組合に富盛

會葬者八千、事實上の道民葬

告別式

満場薦として聲なし

強ない。 ・ 一般では、 ・ 一をは、 ・ 一

第十の祭文祭って矢野御議寺員 正敬者、参列者代表の関門を行は長着の祭文祭の職才れば福華勝として れ午後大時際式、遺族代表国際新祭文を問題すれば福華勝として れ午後大時際式、遺族代表国際新祭文を可能すれば福華勝を直接 大郎氏から館野店一同に定述なる。 学位護者の中詞を代載し 数計録録いかっこ

王串 の音気、理想が遺族

れた式組には 一般限空はからりと暗れ上り得めら おいて脳大に執行された、この日

式は五日午後四時光州小県校庭に

總督 或孫組織、新孫大臣

これよりさき、午後三時五十分。 郷位は

表主 令息電元君が夢停し

ついけ、朝鮮ホテルで稱しく遊い

従四位動四等近**藤岩角氏の舌脚** われ等の良二千石。故全南道知

|光州||在世一年有條の間、全南

具テオエ、公衛者、佐島卓人、| 管邸を紹引し同三時五十五分式編 諸國趙瞻良および近内官公署、| 管邸を紹引し同三時五十五分式編 | 第一日 | 第一日

意識(上)語管用詞代題の「苔を置り出さらと野力したが呼手」だけに非難の繋が担つてある

仁川高女の 猛暑征服策

→土師慶南知事・病風那番中の虚 即十時五十分者仕 十月5

★店会大邱府議 上城中のところ 作化、醴泉方面へ出張

増産質に一割五分 悠々目標を突破 豫想外の大盛况 無益額は長上で開朗、迎く別州、四年大館は五日午前九時から共通 総右翼江曲 (平濃) 張 (水殿) の 平漢、鳥山等からも参加者があり った、水殿工殿にに情い、金筋を 國氏は脆くも敗北、潜小氏は中盤 を盛して独手連路、心筋の温温度 れも優勝の築冠撰録を目指し物的 定刻到既に四十原名に望した。何 に定ったので形よ別後の決勝に移 四人校優勝者六名を出し大坂は既 【水原】本社支局主無第一回中郎 一時に翻劈を飛回、午後四時には 十一日午後二時から同プール水天宮で官民有恵多数を信託してブー 原で官民有恵多数を信託してブー 師の法語を簡関する言 四日午後二年半知歴寺で、田寿山一回修覧講覧会が付くことと、り 段落 って組織する酸合根性がでに使力 先生の法話標明

東東第一曹侯 十三日から十七 も悪文のやうに歌はれ 日まで(水巻) ▲ 東東小県校 まれてある。なた後を 別師問上(松巻) ▲ 東東小県校 はつだらの平原使氏 九日から卅一日まで(水巻) ▲ 山文店の平原使氏 小田から卅一日まで(水巻) ▲ 山文店の平原使氏

日本で(同)▲同郷・西収・十一、水田の冷が別身、「五同」 東京都・西投・十二、水田の冷が別身、「五同」 大田なられば地外の流域をから積積をする。

地震の被称。一、二、九〇二世系版の 七、「は然に花開面が明たしく原画では「一、九〇二世系版の 七、「は然に花開面が明たしく原画では「一、九〇二世系版の 七、「は然に花開面が明たしく原画では「一

山の岩が呼げ落ちたので、単いを質 題で被害領は約一千九百回に返しひ。其他雙國等、人家、三路の歐

本月内 登山、北京、 安山鎮山 の ・ 10世に出た風光明直の海水浴 ・ 10世に出た風光明波 の ・ 10世に出た風光明道の海水浴 ▲松亭 ซ山、草梁、笠山綱、り 注復大人五五銭(小兒宇州)▲ 大邱沙上間各較、慶州、野山よっ り三割田、水陰におとらない長 り三割田、水陰におとらない長 いました。

寺から自動車で水滑李那学。篠原 遊鮮蔵聚の闢途五日午町九時佛図 流 新山1 前警保局長距澤俊樹氏は

齒神頭

婚一行は三月午前十二時半河東等 **慶南道議河東視察**

三頂律、進水、昌原、上

の動き

《 本高級新任和山野祭灣長 九日午 即七時三十分出級著任 四月午後一時設 大政、名古屋、東京方面へ出張 大政、名古屋、東京方面へ出張

▲中谷路山學過管理者 同上 ▲建新山邑長、陳情のため上城中 **★ 新運大邱支店長 同上六日**

東京。大阪

田 邊 商店

五季に署る結局員山の出中氏が上しに設定の頭してゐる状態にあり、更一陳仰した一種けた水肥佐伯氏は挟懸にかわて「はは倒されてゐる状態にあり、更「陳仰した

展・職田支局長の1分配、有意向は「北京は出て」でも収録する。 「東の間等、本地客店の1ヶ々とう」 「東の間等、本地客店の1ヶ々とう」 「東の間等、本地客店の1ヶヶとう」 「東の間等、本地客店の1ヶヶとう」 「東の間等、本地客店の1ヶヶとう」 「東の間等、本地客店の1ヶヶとう」 「東の間等、本地客店の1ヶヶとう」 「東の間等、本地客店の1ヶヶとう」 「東の日本では10ヶヶとう」 「東の日本では10ヶヶとり」 「東の日本では10ヶヶとり) 「東の日

海へ海へ! 避暑客誘致

各海水浴場も新装 釜鐵の大サービス



ロイマチス としてたいへん重賞がられます。と、効き目が早いのとで、家庭藥機鍛縮劑としても用法が簡便なの らし朝らかな氣分になります。ムで速やかに痛みと凝りを散 あることは閼知の事質ですが、一 のです、純白の清潔なクリー き、たゞ滕り込むだけてよい や腰が痛む、といふやうなと 後の疲勞解消に素晴らしい効力が スポーツ薬として若人だちが運動 肩が凝って、 經稿稿 痛 氣分が重い、

物の類保成ひは不概等の気め代験が軽かれて 年頃の人のニキピには生理的に個々の事情 飓固を + 消菌作用と漂白力に富む **硫黄コロイドの新美肌法** Ł" ビ狼の手當 注意して収職的効能のあるものを繋び用ひな 続い悩みを履けなければなりませんからよく ÷± DЩ ロイド確対保有の洗蔵物が最近部路を博

が敵。外田曼には必ず総職に殊職して探ぎ伝えれには適常の疾職が最も有効で、朝夕は 化を計り、遊鹿の運動と充分の聴眠とを扱る 際につとめると共にお餌は美しくといふより 物に計感し、かつ食事中に水を多く飲んで消 出來ることが多分にあります。 物に南郷にしておく事が大切です。 ですからニキビを取く食めには内部的に食 キビでもブラック、ヘッドといって尖端の晶 ても常然の結果でよいます。

ないは難いシミを起く難したり、同じる 型ニキビは役からくと出てその古いも

然しこれも密通の過や水でゴシーへれを洗ひ去つておかねばなりません。 洗ったのでは却て皮膚を荒し根 のコロイド研覧は有の税政内で家がと洗配すのコロイド研覧は有の税政内で家がと洗配すのコロイド研覧は有の税政内で家がと洗配するときは、変分手掛くが配けているのですが、こ

たり能いショでもその張力な政治で 用で結外に色素が歌白されて個 の中に十つかりニキと戦から

い顔、つまり色の黒いですからでなく、色素のなかりでなく、色素のな

東京市 坂 野 芳

時玉器 宮川みよ子

脂肪性と 吹出が止み

洗ឈクリームを使用する際になり 酸かお送り下さいましたレオン 盛であれ壁の脂肪性も交吹田働も 昨年の夏頃より朝社の洗剤クリ

て自分ばかりこんなに色黒に土 | みますと、もっと早く気がつけばい方を見ますと楽ましくて如何 っぱしませんでしたが、今になっていまかりまく色の白いのは七िかくすと | なるから使ってみたらなどと歌めよく色の白いのは七िかくすと | なるから使ってみたらなどと歌め

た銀で云います。やがて卑疚を卒れたのかと思ふと躍めしくて、郷しれたのかと思ふと躍めしくて、郷して自身ばかりこんなに色彩に生っ 標かと思った事もべいました。 世紀を見て笑つてゐる際に取べる 新郎の人挺に、なんとなく自分の 新山の人挺に、なんとなく自分の 深して務をもつ際になりましても 白い方を見ますと羨ましくて如何いふ事を聞きますが、本常に色の

日焦も消え色白に

皮膚の毛指、緊張より脂肪中に自 が出来ます)なんの酸作用もなく の酸によれば其語動状態を見る事 仕組になつてゐるレオン洗疏クリ が使用の那里多量に蔵生する儒な 響焦などは極めて容易に、生れつ 本者性コロイド 建筑 (草質特許) た番性コロイド 建筑 (草質特許)

も自然に解消して見遠へる程色白酸パニキビ、ショ白欧綱や小城要き色黒の方でも離次に白くなり。 レオン洗頭クリーム」しは東

キビは痕跡なく

色黑を悩んだ私が 垢 拔 た 美 白 の 顔 に

つた変素網子を確認で細胞に恋白つた変素網の総合作用に依るものであ (語子)前風の三氏がレオン く成功されたのは北の中に含ま

御順ひ中し上げます。 御試用と御指導とか切に

収速度試驗 後に於ける吸 というの飲用 りこの」。應用が益…善 近時臨床醫學界にど るどりこの第一権類より現在

各御家庭に於ても是非御抄替

ど皆この南葡糖と果糖であって能性へ吸收されますが、どりこ 荷物、果糖の如き単糖類となりたる 所各自に適問する酵素の作用を受け、葡 た記水炭素の内で、縦腕駆及び多糖類は御原刈の通り、食物として暴取せられ

及せられ虚弱兒童及で育

兄。榮養或は潜航艇重

ります。(午掲分析表側意用) 観えどしこの

飲食物也人工着色

あります。昔は含嗽料にも若色した時代 限的には殆ど意識なく、時に有害無益で 作的色料取締規則により、監督を受ける ことになって居りますが、人工著色は科 敗金物に人工者色を施すことは、有害

るとはいなって多りました事は、

私共の光学欣快とする所

の恢復食等として試用せら

組員の微妙な労働疲労

子の魚介頭に至る迄、殆ど人工習色が施 変色、其他容服の如き消物額から、 恩贈 して、飲料水に苺の赤色、『レモン』の 而しながら食料品界に於ては、依然と

であります。更に大方諸野

完全なる消毒

気消器を施した事になるのに於て場詰となし、密栓のに於て場詰となし、密栓のに於て場詰となし、密栓のにがする。 液狀食品と容器

を用ひてをりますが、いかがなるのでせ動食と云へは依然として緊急性性流動食 消化せられませんため、利用学が低減い たします。斯標な次第でありますのに流 一方折角器取した機能物も完全に

プ等に 影響が 動画の配合と を動に合理

第四半乳とりこの 牛乳の分析成績

く新場を使用してをります。 悪場の回收は全く致さず、 悉しますので、『どりこの』は古いますのは、洗滌しても衣裳がまなる

に利益いたしますが、化學的報物の附着

容別の回収は、需要者も製造者もお百

ツに氏によりますと ますと、次の如くなるのであります。 を無能してはいけません

今一合の生物に「出コのの」三〇年を

牛乳台の榮養價

約一〇四・七岁口リ 約一一七・四カロリ・一八〇年(一合)

京都年五日時の日本の日本

は金く人工着色でなく、『さいこの』 特有の物のにあります。 いる自然反應着色で、従って此色は『どりこの』 特有の複類と「アではしば、どりこの」 特有の複類と「アールのものであります。

の変を切に続くる表第であります。

しても全く安心の出來る醫食料品衞生取締上よりみま以上の如く。とりこの」は

療用榮奉料であります。

第三消化機能。減

てのとここの

銀 白 質 一六五・六瓦 気器関なし 弾として、その祭者慎を計算して見ます 今全度半乳一合を順記の分析成績を基 み良く美味くする點に於ての漿養價を倍加し、其上飲容積を殆ど增加せずに牛乳を積を光と増加せずに牛乳 与六分)で一〇四・七カロリーとなりま計解いたしますと、容積値か三〇年へ一 の築養價を倍加し、其上容積を殆ど増加せずに牛

の楽器館を「というの」の分析結果よりの楽器館を「というの」の発情を

仰ぎ建餘を其他の食素によっての所要熱量の約半分乃至この「エネルギー」源とし 与の生乳、一箇の部脈位でも、質用で騒には消化力が減退して居りますから、五 から、こんた時には胃糖類を互助する事語を起し、無心等を能す場合があります が合理的であると思ひます。 問意を描らたければならない概な時 九◆二瓦 三八◆○カロリ1 京泰館なし 東泰館なし 分 | 六五・75円 talvaster - 1 口質 六・七瓦 二七・六 | カロリー

で眞にお奨めすることが出 牛乳築養價増進調味料とし み良く美味くする駄に於て

製造 (上げ) Apparte

專賣特許名

含糖榮養劑

答案者共、種々防腐の方法を考究

縮とする事は、西部の蓋域地間に 液狀食品として製造者の最も苦 液狀食品と腐敗

し、從つて監督官職に於ても、防

。 だっとりこの」は「ブ 階別の使用を取締つて居るのであ

リツクス』特計で約六十七 しませんから、原液の整育を許ある事なく、即ち物理的作品によって細菌の軽育を許しませんから、原液の整合を対しませんから、原液のである。 **でおけば永く保存に堪ふる** た。 は立の一例を示して見たに「とりこの」 洗動り絹糸ものとして、

というの流動食の献立

思者(男)體軍四十五瓩 身長

ブネル氏によりますと、全窓を分の入九、寒暖のんで消化吸収せらると聞合はルハーカロリーでありますが、

心學博士

高橋孝太郎先生發明

品速度滋養料

(宝成分) 葡萄糖・果糖・アミノ酸

る楽譜は、二三〇・ 牛乳一合の有す

石の如く全良

の利用語は一一七・四カロリーとなるののでありますから、一合の牛乳の関係

であります。ですから置題を悪くしてを 会場合語では、更に此利用率の低下はま

だよ照り、藤姓

ぬかれないのであります

容積に限りある 胃からみた牛乳

られて説成中に搭進せられてしまっと云 ●八いで「○・」がは健康人でも利用せブネル氏によりますと、全要罪分の八九

週の原因が腐敗を意味するからでありま して監督官題に於ては、又之が取締を行 液状食品として製造者の苦痛 液狀食品と溷濁 個尚でありますが、之は勿論祖 《カロリー約五三三•五一四〇六•Ⅰ) 方米に対し入○○カロリーを基準と 二十四時間に要する所要基準代謝鉱 二十四時間に要する所要基準代謝鉱

度の下陸によって、葡萄糖の一水稲糖と一般態に出來て思ります関係上、激しき温 寒の條には製造時に於て溶液が強ど飽和く溜減を來す事はありません。只冬黍殿 幸に「とりこの」は配復のまとでは全 歌揚、スープ共他(約二九五カロリー) 節が六十瓦の劉琬の即黄三周的五七瓦 (カロリー約) | 七四十二三四十八 乳 (谷) (八〇年) | 十二合 (1100・ | カロリー)

今部以に之を加温いたしますと、此析出まれてをお耶の立証となるのであります ろ「とりこの」中には多量の葡萄糖が含 との設定的の浴後に動元いたしまたとを加温いたしますと、此析出

能は三四回に分形す。 一二三次カロリト

巻を生乳でとらうとしますと、一度に

二

今二三五カロリーの熱電に相関する策

をれば、代謝の平断を保ち、騰重に増減野長一五七卿の健康人が組動安開にして 留する食物の猫取は困難となるばかりで でありますが、疾病の際は所要が置に相 有の献売によりますと、簡単四十五年 かりか、消化部に発生しからも亦良い事で気を一度に依む事は決して容易でないば気を一度に依む事は決して容易でないば この駅が非能率的である。主気はなければ ますが、容別に限りある質に對しては、 ては誠に牛乳は王禄結構な流動食であり はありません。ですから思想によりまし

いこの。をどの位 入れたら良い 一合の牛乳へど

発売年第一合(一八〇姓)に「とりこの1 二五一三〇年(報度を採集となるだけ入れますと、見て二五一三〇年入れたけ入れますと、別で二五一三〇年入れたけ入れますと、別では、日本のは、日本のは、日本のは、日本の 趣きを操にした而も、牛乳を好まぬ人で味を持ち香味を奥へ、砂糖の甘味と全然

ります。「とりこの」を入れてから牛乳 疾病時に何れが適應せるかはこゝに 味に於ても校覧の相違があります

ありまして、此内産糖としての存在は低 16」百分中の懇類電は、六五・二五で圏立丁素語製成の報告書の据く「老月 有する總統量中 >S(III %は單糖類であ なります。金

をいいますが、盛りモ赤酒の酸は 変に、盛りモ赤酒の酸は 変に、盛りモ赤酒の酸は 変に、盛りモ赤酒の甘味は 消化を必要とする蔗糖でありますが、「どりこの」赤酒の が高糖と果糖であります。

七五一七〇・〇年 この」赤酒 八〇·〇年 〇·五年

岩平

が、絵棚の場合を除いては之に代ふるにきするの場方が用ひられてをります。 懸じてをりますのに、依然として鹽酸リ のに、依然として夏酸リーのに、依料水配品中には智証 の方が合理的たと思い 赤酒

りあに店品料食店藥・社會名合置王 融店理代總・部事商社談講會辯雄本日大 鳥界 元賣銀

水道ない町 开戶改良

水道の及ばぬ地僧に同しては衛生 ら給水管の身限工事に立つするが 水遊説では毎門真倒を投じ九月か 行戦高級の極更による京城新所総

の上水道鍋は米だ不十分なので崩

七月十一日(日曜日)

午前九時から

京城府で

手舘保持諸単に各地方林畝ナームにより行ふ半島庭塚の八度選島より原述の結果選出の各地代表、鹿年底選中央、阿竜、北鮮、英雄、西鮮、遺鮮、湖東、黒曽北中央、阿竜、北鮮、英雄、西鮮、遺鮮、湖東、黒曽北

觀節料

大人三十錢、學生二十錢

丸烫ボール

遺内に開発無続にナフスの影響語 荳し今年度はその年分の1三百寸一昨年は京建暦内を中心にした京蔵 までのチフス県電バ百八十九名に貯みにかウントへつた!。 開るよく京産道管内で昨年の今日

昭和になって各種の威震を聴取し一ある、その他駆乱総も昨年の百七たこれに對し院医師を市く當局は一百名内外にすぎないといる概要で たしく例年にない佛染版りをみせ、名でその中京城町内の思書は低か

主催京城日報

後援 朝鮮軟式庭球聯盟

京原財内各党党内は勿識重全版に、今で意明出い版でより、のののでは、四月に入し

た、配も常局の緊張は今年に入つ

十三名に耐し今年は百四名、その

他の信益病も能力をみせてるる近

常局ではこの好調に、地断セナ、

毎日中報

|出場選手|

初のことであり周切な話題を生む るが、腹壁臓はと小型校長の配合

を翻談を選けることは个門が

ものと期待されてみる

節奏聲、各小規模を長)は至る「一

日午後一時から府野は民語で第 回懇談館を開助、學技術般その一

遊職なきはたの交送を行

日まで放性膨胀であったのを今回(は実际非中のカルギ消骸を行ひ、 「翌日長ど」して「動が質難覚をしたのみでその後今」なほ七月から三日間龍山気管内で「署へ

牛島庭球界の豪華版

第世三回全鮮庭球選手權大

の共同非月数は七百七十億で八年一新郡山間の決定をなず語である。 野獣他の水質調査中であるが、近にもの、及び水質調査の結果により

の関する簡素は大松関係」さん器「響談話」「乗場策」そして情報で「管内には開発調を中心に 察覧としての最出しであった問題」あれ、特に関係の表現すと思うな題。 カフェーパー

発験するや一世よりと述べて供給時内に明めを

大十年が混みあつてをり、原田、玉一至日に打撲的を買ったので置ちに

1飲食に約一し、機能を大阪し公仲間に令息は

格納庫南間コンタリー

東七公使自己操送に雷水行をなし

ト競に合品オニギニオーだっている

使アギラール少斯は七日午後四時 過き斜田飛行場で愛撒リタイアン 行頭行を此みんとするメキシコ公 給を万向犯に描いて逝々故図にポー

傳染病大減り

注射のお蔭

京畿道の管内では

昨年の半分となる

人質別会々として前山居住民か一早々習代に対する則がの一説に、一部飲せしめてあるが、自了創語器一登壁しようとした際議論を認って

お職立を加する正であ

原語の教育職報者(第一教育部」を使用、且下從来の共同共戸、及、更に世代調査をなし取良を加へる

關係府議と校長ら打合せ

人間折かほから

京



農村の人々を蝕む

高利貸の大征伐 都會人《相當泣かさる

れてある協利費の横行については一窓をみてある、京、豫道警が部で一につき副章を命じた、この監利費った、「管内には期間井戸と仏殿」それんく献金した 地方の殿村関極に当し、歴といば一るが、依然として後華蔚利貴の談。下各名に封し管内の高利貴の財況「簡集。短続介の賢明を行ふこと」な

京畿道警察部が陣頭に立つ は亡夫人の意志を問いで六十回を

さ、江殿道章に都章化上野師義氏 は原内を三地氏は廿二国四十六姓一 し朝鮮防空気材設に駅並した 献金美談

井戸を住せ的五汗間あるが、萬一 問程現れの場合は同署まで届出ら

山崎氏の話に田倉港方では支那人 なんか紙情は受け取りないかった

これは朝鮮紀行で出してある一大震を連興して、資生力でに成成した場所の表情がある一大震を連興して、資生力では、大大に対すから繋だったら、この運動が開入で二回四十銭といる。」と該盟してやつたらその子・本から繋いるのです。これに動脈の上を訪問した。日本には、日本の子・大震を連興して、資生力でごの意思が行うだった。これに動脈の大震を連興して、資生力でごの意とが表情がある。

この運動が個人で二国四十銭とい 六概を連続して一夜沿りでこの高

山脏(七月中紀までに流感)が説。螺が緩いスロープを育中にした久。 お時に赴東山旺、長戦論昨に長職。て前面は端に面し高山脈続のお花から安いものです、これに赴照。赴原山雅は熊天島墨字の丘にあり、

備され、雨方の間には快速な遊覧一米山肚を型取った二路建で丸木を

船が一隻須用がされて遊院店を持一般今重ねたヒュッテ型、入口を入

湖岸のキャンプ設管地

本いらしい、10月のたから「君」大艦を連駆して「夜間のでこの始めている」、「五十銭下さい」さて「長海湖に通する脈が山麓に沿るが、十二、四里に直路を作り返還されている。「五十銭下さい」さて、長海湖に通する脈が山麓に沿るが、大三、四里に直が通道が、

「困ります」という「何が困る」 このの時代 英国 むこの (成に投

にてるる、先づ第一にかばいから

に昨年から新興韓道は遊覧名談故

にしたのは此過では初まつて以来 十五年十六の子供が一面紅幣を手

は姚磯智用を節約甘風飲むした 一個南本町第一般只保険出現町主 **孫如山河山河山河山河郊** はは川田を節約部

田澤千代子廳 家文子女史

地綱祭ご上棟式

近、高坡越思辺上記录する所非官倉敷 で 地の地鑑察は十三日平移二時から 比 執行、昨年度來度 1歳中の日出小 な 軽投は十三日平後四時から上班 を 軽投は十三日平後四時から上班 を を操行

搜後社本

れらの中には無難可の関系にもあ一合なものは片つ端から處分すると一株式館は、世話するとて三国を作

になった

をしてみた事判明をしてのた事制のでは、

関を制は十圓

群山仁川間

汽船競爭

干重用金

七月十日午後七時半府民笳 夏宵絶好の贈りもの

舞踊と音樂の夕

で、劉内の明別と合せ皆内金殿を「ら月末まで約二週間の登記で、御で、劉内の明別と合せ皆内金殿を「ら月末まで約二週間の登記で、版・「ビスなが入り襲れ、果ては怪し「大阪市大日本産武師的書では日本

平風、威夷、蜀道二二品以前之出 前各地を巡路、釜山、大師、京城

路に四五日日から仁川汽船が割込

み、健康同院路に配船を行つてゐ 三川 諸」「川雅川の沿岸航 るるものもあれば、定員以上のサ のが、蚊目後はパーに早替りして り、ウドン鼠と思って肝可したも

各地で詩吟會

実等の遊戯場がす八箇所あるがこ 墨國公使の飛行機 明明化するためまつ第一歩をカフ 浴化に乗り 関系は、遊戯場等の

父子重傷 出し、不都

愛機で故國へ飛ぶ準備中

世を方向肥に描いて遊々故宮に雅」を驅したが公便は金池三週間の東 父至常三週間以上の重傷である【東京毘話】東部常見滅田の武者「神出縣別大概榜院に収答殿集宇宮」を修折した際の出態。翌たしくこ 似で胸部に皮下出血あり含息に見 罪な就職詐欺

近米京城府内には民職節以が選る」として起り府内各署で四人物資中 二人でのんきな暮し

なと位で所以大額を開脳した、地間が額では八日午後四時から

十時までに記録した、水道機器が 水時間を一時間短級し朝大時から 府の上水道は水る十日より更に給

に記するな場では、「記号、地色観光

擴張を陳情

南浦水道

民工的女押心 一般民士總則對

等に水を與へよとの器型を以て

1年後二時五十分京城縣 至列山 認院に落ちつき谷地を駆殺する。 管長入城 各地を巡教院滞在 七日位九時頃京城長沙町辿りで分

けるの事から口論してある二人連

1の男を観音器金細査が調べると田所不足 柳時 注(ご)と金 東(ご)

「龍中の針」等々の地下に十数をよって、一部中の針」等々の地下に十数を 記するとともに耐木銀三郎氏ほかの叫びあり決脳をなし各万<u>庫へ</u>れ 總質形へ傾倒のため出態した 中省が差別として同様直ちに上 から五時までの間に同域で岩町水水場売し 七日午後1

けふの天気

れ、院院は沙鵬から員つ直く昇れ 共先きは武事皇で中央には白樺大勝間で左手に浴里、便所が脳 の土間になりその先きが収扱り

赴戦高原の大自

から此級社に入ったのは八時を過

つてある

鑑道は成果から松果郷まで社職

ぎてゐたらう、ことで最近の熱似

□ 二部院六十人の人々を収容出来る の対太を殴ひ二歌に五部、献下に である。 職代は自標

形三尺に大尺の緊痛激に十八重の

花柳病里

方法院 ハ之ず即用ス 即

京都写島崎病院

※ 京日案内

外科花柳病

家政・派人用語方家展三人間を予修者の方は、「本人用語方家展三人

女中人用である。

特別拿贝

に対象的できると関心の企画で不過 のによりできると思いないない。 で用心を乗り出るとはからいないか。 で用心を乗り出るを紹介で加ます。 日本スペーナン三なる。

仲 居 採用

四〇分〇四等一般自己二二多〇四の分の四等一般自己二二多〇一年就非上二六分〇七年的針字中一般第二一二分〇八等公本二〇〇分〇分の九等和約合小池「〇一分)

名参加の上降大に明確されたが左

电影 Li di iii

カルケツ

同土四三一匁◆三等一般濱崎三◆一等消役首提四八六匁◆二等

営水路で川底大小天海二百八十条 五日(日曜日)京仁線富平水利田

是他的共產組合設立記念的大會社

釣具組合記念

釣大會成績

二百八十名

単連 クレヨン

地球鉛筆

日本リクレヨン

零加の盛況

引動業債券賣出人

選へる時はいつも二十圓 行銀業勧本日

抽籤発表

907/6 827/8 33/1478 34/178 34/179 34/18 34/187 35/187 35/187 35/187 35/187 35/187 35/187 38/1

ハーモニカ メハ 擴大議 1000名標

3 等 4 等 自動鉛筆削 双眼睫之 颐 数 键 100名牒 500名標 32 200 2351 9637 1732 4339 15718 $20611 \\ 34217$ 38754 43332

2 等

高風機ない 書 音 器 50名機

等

2514

デス

曹野和始間 昭和十一年七九二十日限 以後無効 キントンアメ本語立花型菓株式會社

七月十五日一十八日まで

大京城府民教育の

鍾路方面一帯に三り

の街を浄化

明朗松岡署長さんの初仕事

カフェ、バ

ーの整理

日

に至りその旅行を注目されてあるなり、庶よ三島の厳報は測化する からには一十銭に「下げする事に 配下げしたが、仁川汽船でも七日 間に競争となり、海洋社及び忠阳に関争を洋社及な問門間に 八船野航では直に群川他間からに 川までの片戸連打五一銭を竹銭に

尼尼五十組各語

私はお母さんの言葉は 呼ばれてあるやうなお気がしてし

んの死の真的は、私輩には何時迄 も迷に終るやうな気がしますの、

祀いだつて事務所の人から、選鑑 同一時(東)婦人諸座 同一時(東)婦人諸座 伊養 大阪ラデオオ

一般つてしまったと云ふのを御存じ一た瞬山への愛者は、他人の物にな。同三時四〇分(東)気象通報 お兄さんは此の家も鑑山も人手に一自分の分身のやうに考へてゐらし

んもの、あの前の日にお父さんは の上、お父さんの死の直後の殿跡やりしてゐるお母さんに、私は此 万銭山へ行つて、兄さんの時朝

時頃で、私選が此属へ着いたのは、

京等弱血漿譜 ずや結果は難らしてくれるものだしは嵌しい先さへ競つてゐれば、必一

——(附氏共一回肠二人目初手合)——

□段▽中小

和の常識

觀

記

本紙一萬號記念懸賞小說二等當選

どんな証路でさらなつた

歌なのに、何望かで順丁々々つて、云つてゐたが。で、それは何藤誠と云ふことはちゃんと解つてゐる。 窓しんでゐると云ふやうなことが、 吹もお通びしてお父さんの好んだ にあつた時、既歌師にお父さんが、 戦もお通びしてお父さんが、 にあつた時、既歌師にお父さんが、 これ・ 知らたかつたれ、 えも冬二一 『 『 』

同六時三〇分 (京) 英跳器座 午前六時 (軍) ラヂオ機操 間象山先生の本額(三)間を時、今日の天氣見込 八日の番組 一放送

■四ヲ提文祭座より中徳■ 髪間苅豆』木下川堤の段 二〇分(六)人形淨瑠瑚

レース物について 高木美代子 同一〇時三〇分(東)婦人の時間

かされ 竹本街迎来夫奥右側門 作本街迎来夫奥右側門 作本街迎来夫奥右側門 作本街迎来夫国 原 野澤和 之助 同 野澤和 之助 西 阿 野海和 三郎 四 脚 海 女三郎

版 11回)國民電話に盛られた心田 かり 同穴時(大)電話劇 にだまは 瞬間 にはとも 野郷 いの穴時(大)電話劇 にどまは 瞬間 北河 領域

ラヂオスケツチ 夏休みが來る

監解観で、出記者は既に放送でお 究質から肌れて、新しく生れた電 東京語 関版は 最近木馬京語 関が 四人の顔は、焚火で潺々と光つて んであるのは、二人の少年とお兄 るます。二人の少年はお兄さんの 側のパチーへ燃えてゐる熱火を囮 お話をじつと叫いてみます。

ヨイショーの仏響も聞えます。サア遠くで地川綱です「ヨイショ した。彼は金色に輝いてみます。 朝の濱邊・ お祖父さんとお祖母さんを、 和光さんと翌子さんの二人は、 第三景

瀬を洩してゐるが、學するに銀柱 に、此の位勝もを飽くまで守り通路分憩い將供を招しました、と感 と位簡となつたそれであると同時か熟若が五七間玉と取る處で、 」に上ぐべき點は前述の通り五五步 松金 易二郎

専責特許の乾む

ゆかりの月

鐵一

三下り、一般頭線毛のいるすがた、

陽の干銭が、うたふ昔の今探も合樹日うつらふ和田庫海、よもぎが

して書物、進 | 掛づよく一般にあるやらに無はれ | 技術の保証を保証値でくき能物に関連を任めて通俗値 差してみることをお話したいと思思が生めて通俗値 差してみることをお話したいと思思がはかなり (に近所して見たい、かくして今や ひます

第二人が、送 第二人が、送 のニュース(朝鮮語、後山

午後零時五分(東)喇叭炎樂 夏の飲料(三) 進齢 眞砂同一〇時三〇分(東)家庭調監 瀬井 縣治

福

海巾を禁除 | む誠と誠、こんな緑が断にもあっ

か、花典く里の番ならば、雨よ照

同零時三五分(大)層退歌腦

阿部 等子

かわらぬ御代の御野、こふくのこ 念でもちよするへ四方のしき很。 ですから……」



辰淡白

P さな とで





へ離本接直てに祭郵はひ要替置小か替提は節の等れ切品に密長 店 商 屋 見 丸 (〇―七京東音遍) 國兩・京東 舗本館石ワツミ〇

は 0000 典心のサーワ自然 が一番です

●分子が細く三倍も伸びるから

塞北大連奉天福岡静岡京城東京神戸名古屋 品の存在を御想起下さい一時を優秀なるボッシュ製・シの性能を損じぬ様御 オリス 高會東京市赤阪區溜地町一五東京市赤阪區溜地町一五 『手履文度柳生 商店 所屬品を裝置しておん故に世界的優別をも受けては ボッシュ部 は能を損じぬ様何」の高温なるエンの附属品の使用に

ボツシユ製品

+

(整不料送)いる下文注意

銀粒

(百五十粒) (三百二十粒) (內 百粒) (九 百粒)

仁丹藥價

御 德 用 孙 家庭容器瓶入 用 分 器 用 分